

YOUNG KING COMICS

05

水上悟志

スピリット  
魂環  
サークル





おれの見た前世は  
未来だった…

34世紀の地球…  
人類は滅びようと  
していた

[30輪目]

政府もテロリストも  
人類の未来のためと  
言い

あの一  
マスター…？

人類の進歩たる  
科学技術を封印し  
焼き…

どうしても  
気になるから

ここで「続き」  
を見る

やがてB.H兵器  
の暴走によって  
地球は…

邪魔する  
なよルン

おれは知らない  
ければいけない  
あの続きを

水上悟志

SATOSHI MIZUKAMI

この地球に生きる  
全ての人の…

過去から未来へ続く  
全ての営みの…

何もかもを終着点が  
本当にあそこなのか

30輪目  
告白1

スピリット  
ザ・サークル

魂環







次の過去生を  
見ようとした?



バカじゃないの  
あんた!?

先週半ばに  
方太郎を見てから  
その週末にラファル  
を見て

で週明け  
今日でしょ



短すぎる  
わよ期間が

ていうか土曜に  
見てたんなら

日曜は何  
してたのよ?

そんなに  
急いでた  
くせに

.....  
寝込んでた.....



影響  
受けまくってる  
じゃないの

ルンがあんたの  
過去生ダイブを  
妨害するののも  
当然だわ

おれは  
平気だ

過去生の人格に  
吞まれてなんて  
いない

ふん…  
どうだか

ま私にとつては  
どうでもいい  
けど

なんだよ

じゃあ私は今から  
ルンを捜しに行くよ

ふうた  
風太くんがしばらく  
過去生は見ないと  
約束するんなら

すぐ帰るように  
言うけど

約束は…

……  
できないな

その場合  
ルンはこちらで  
保護するよ

それ  
いい!!

3人で楽しく  
暮らしましょ!!

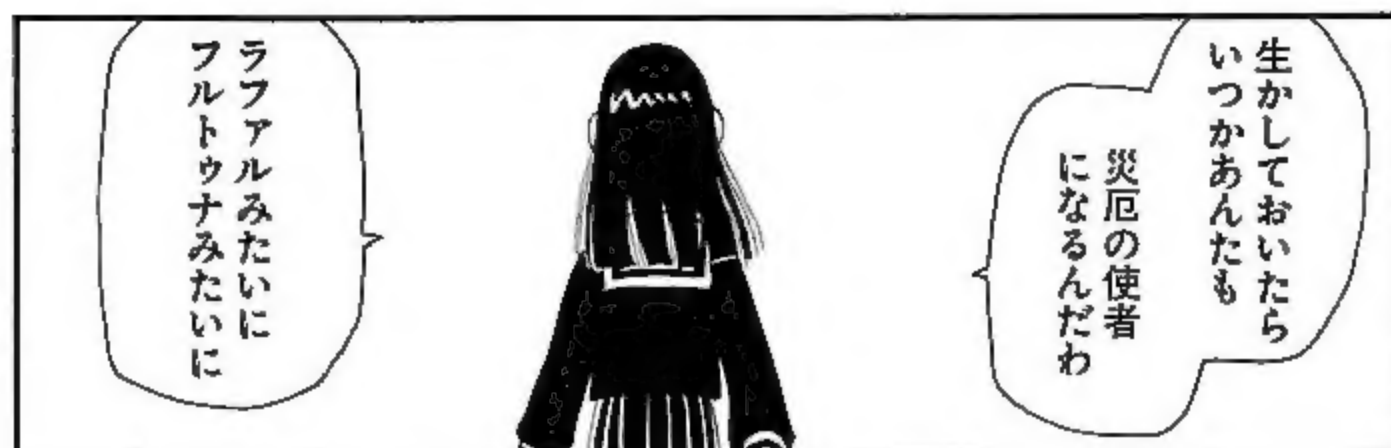
ま行方不明  
よりはいいか

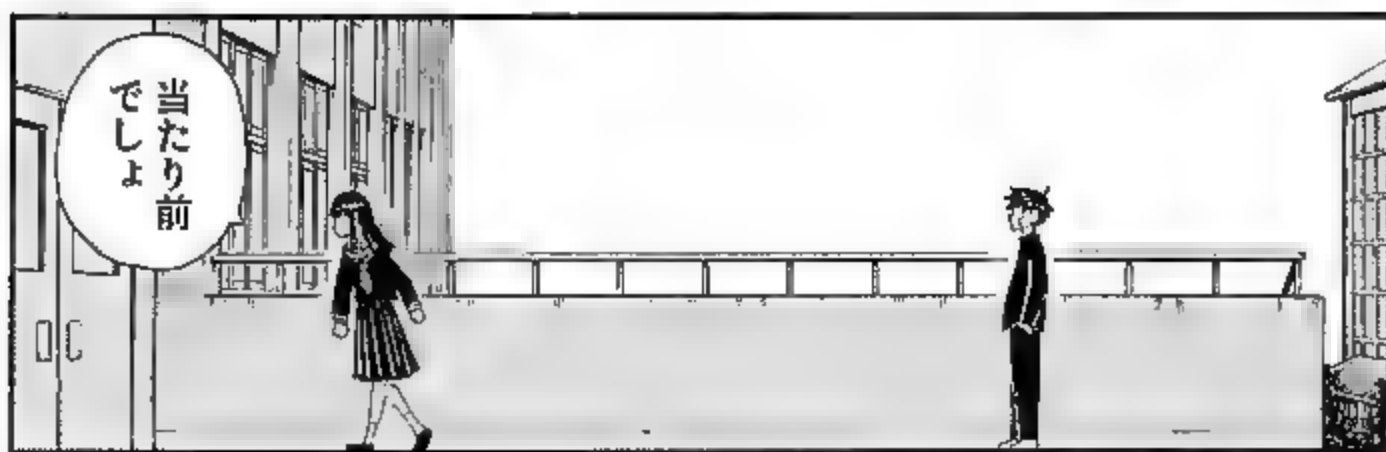
悪いな  
イースト  
おれも放課後  
捜しに行くよ

…確かにいつもより  
大人びているね  
風太くん

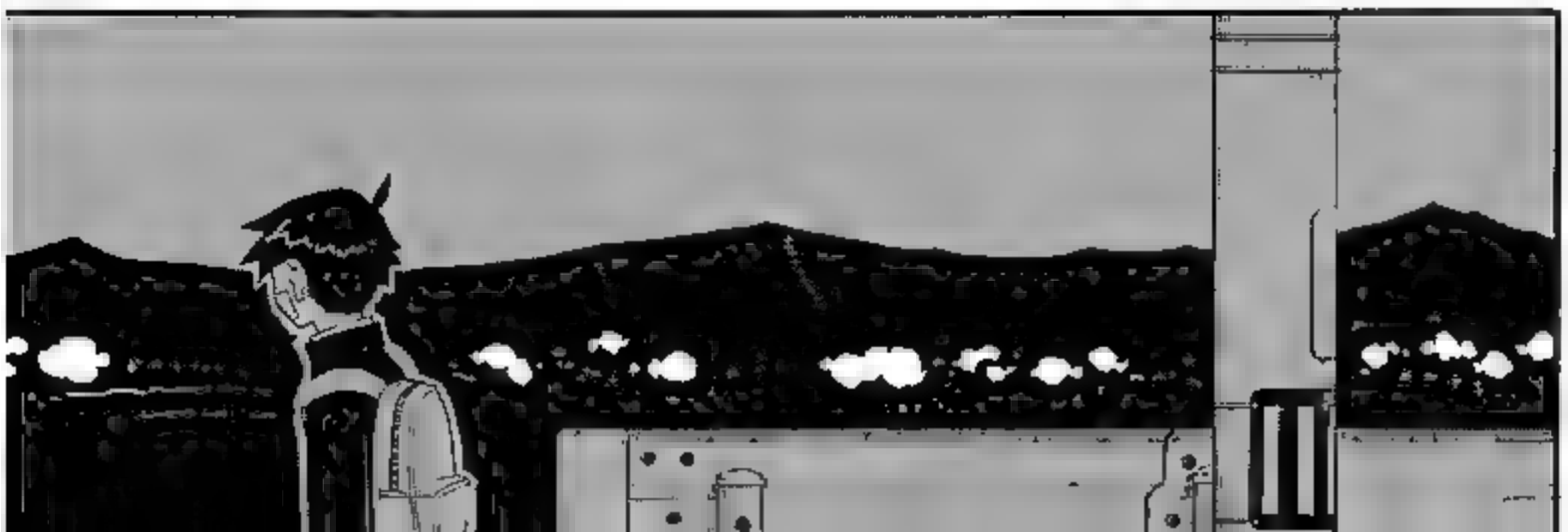
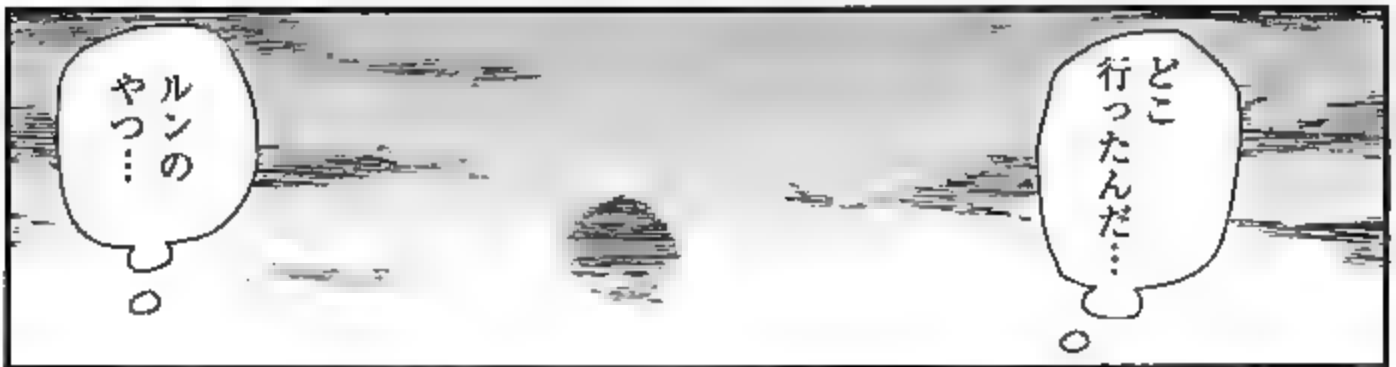
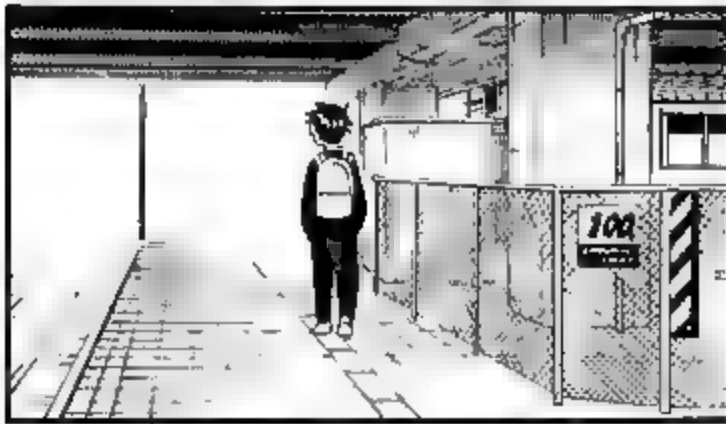
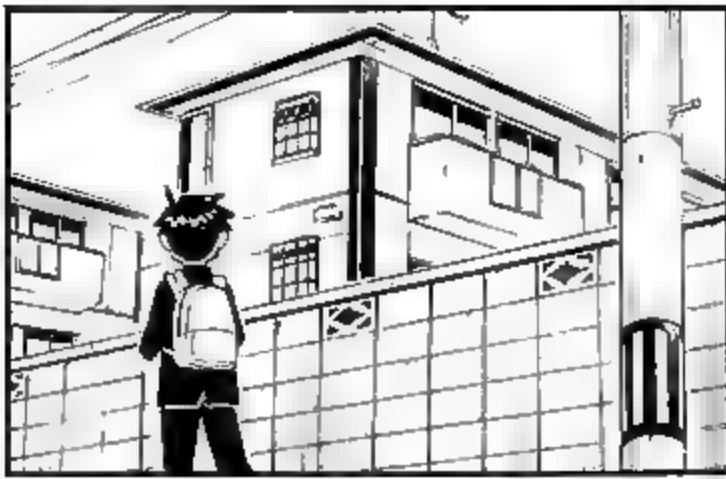
やっぱり過去生の  
影響は強そうだ











お側に置いて  
ください〜



あいつ

他に行くところ  
なんて…



あれっ  
フータだ  
おい

ほんとだ  
フータだ

えっ



なんで  
制服？

家帰って  
ねーの？

ダイキ…

テツ…  
ウミ…



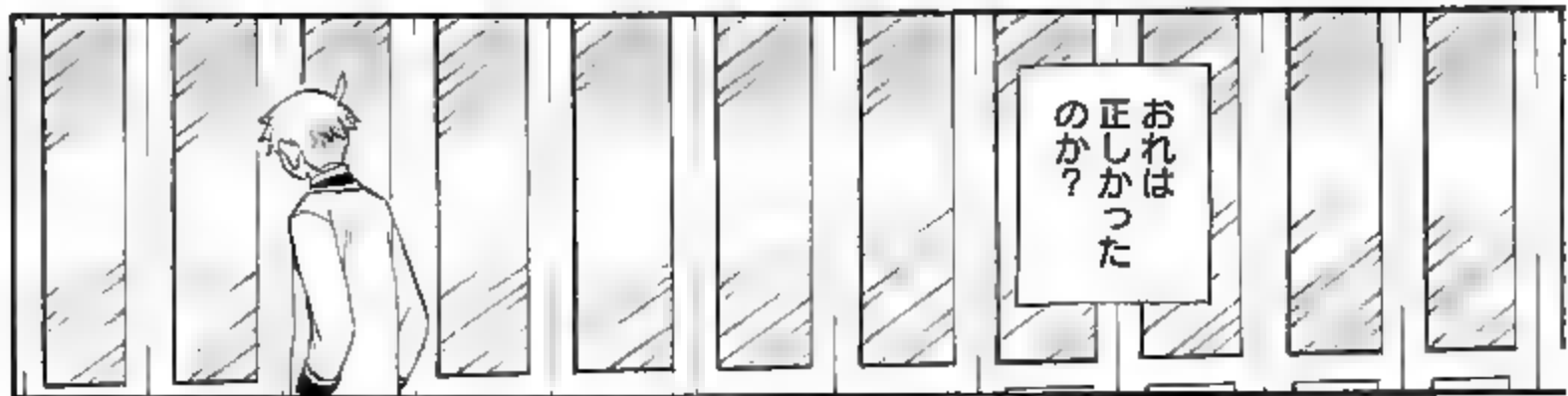
ちやうど部活の  
終わりの時間が  
重なってね

3人  
ともな

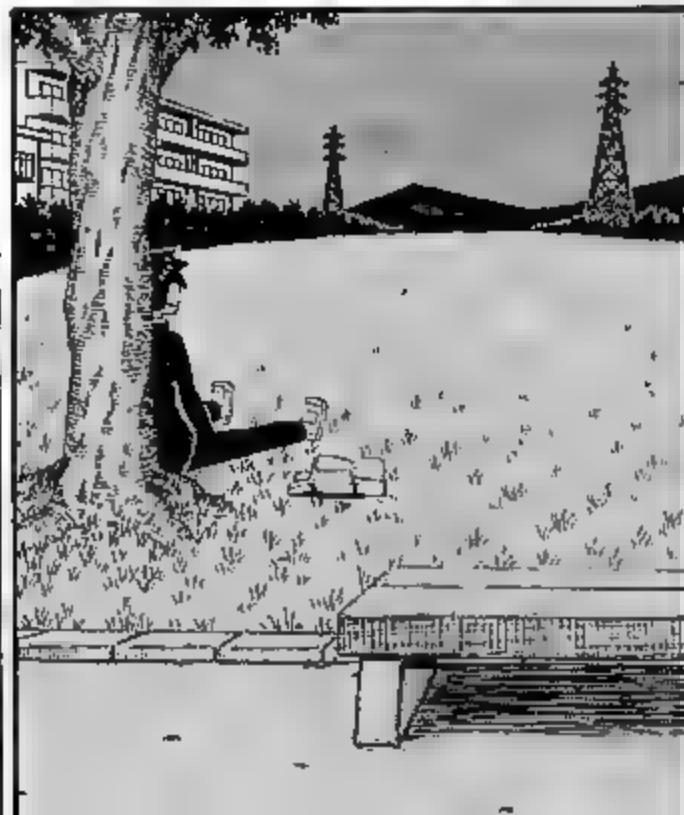
ノノはちよつと  
早く帰ったみたいで  
惜しかったけど

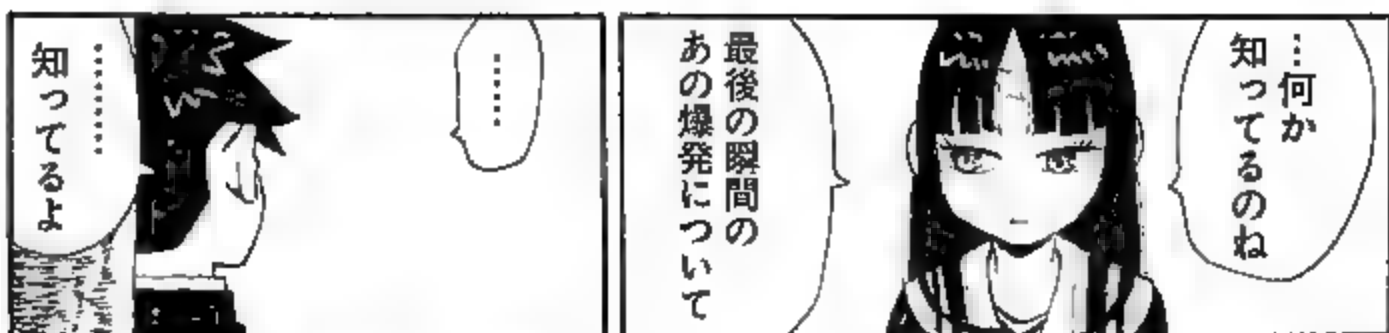
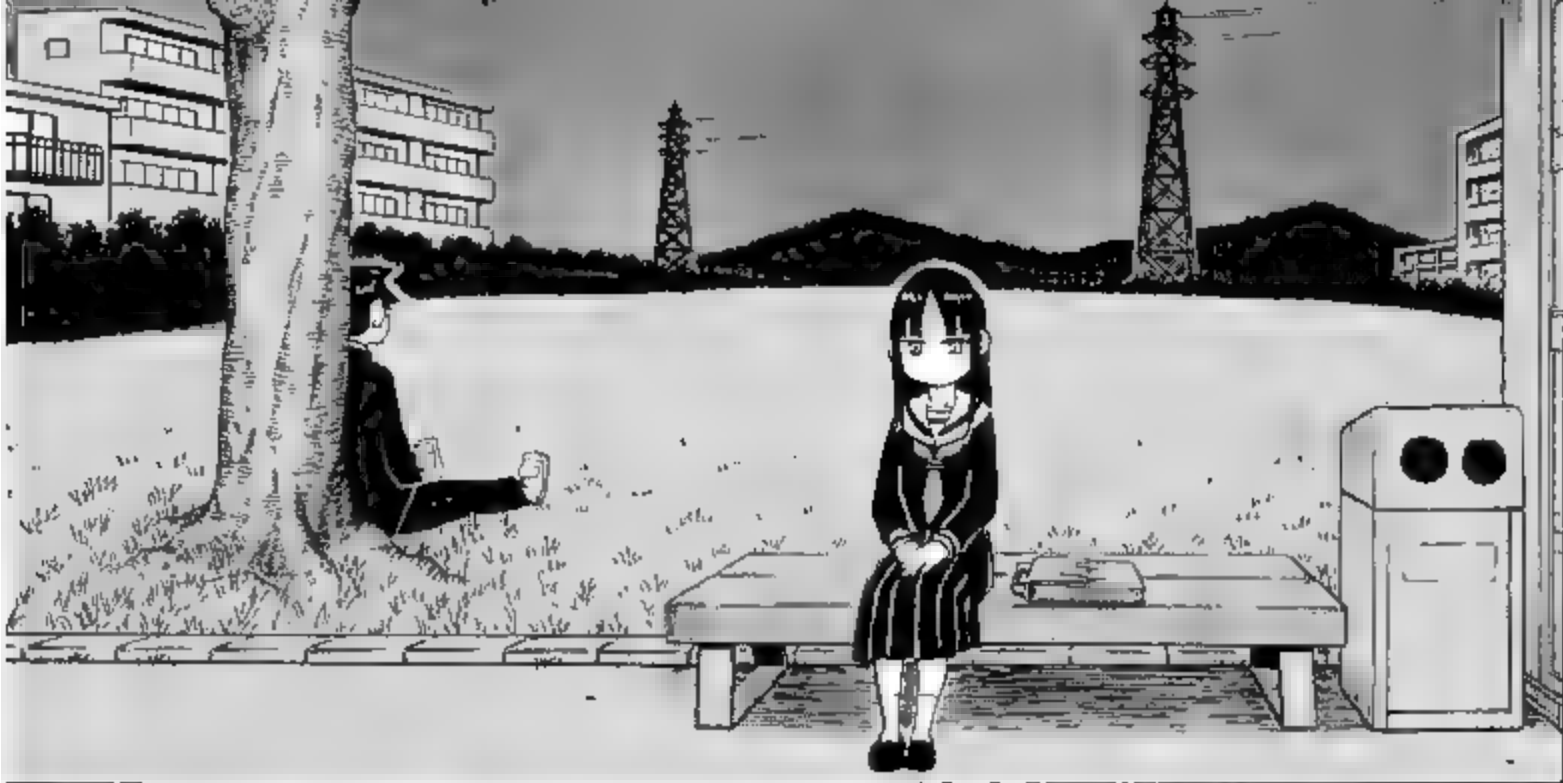
















せつかく…  
せつかく救ったのに…っ

そんな終わり方  
ないでしょ…!!

戦い  
…?

救った  
…?

おおい

落ちつけ  
よ

うるさい  
っ!!

キ



それに…おれ達の  
未来がそのまま  
あそこへつながつている  
とも限らない

カロルの研究テーマ  
を知ってるか？

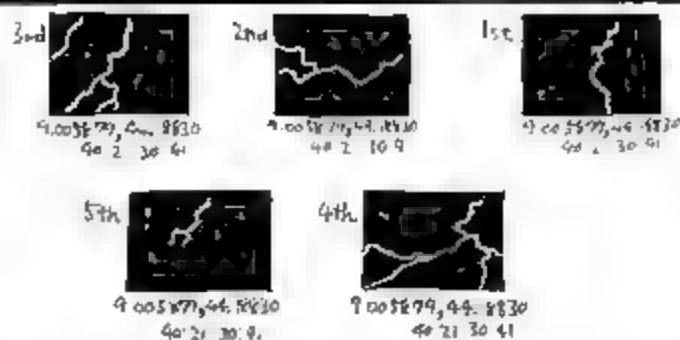
タイムマシンだ

タイム…  
マシン…

カロルが…？

探査機なら  
もうできてた  
らしい

それによると  
同時刻  
同時点を  
何度観測しても



雷の光り方が  
違ったりして

毎回結果が  
変わるらしい  
…つまり…

平行宇宙は  
実在するって  
こと…？

ということとは…

そう無数の  
可能性が存在する

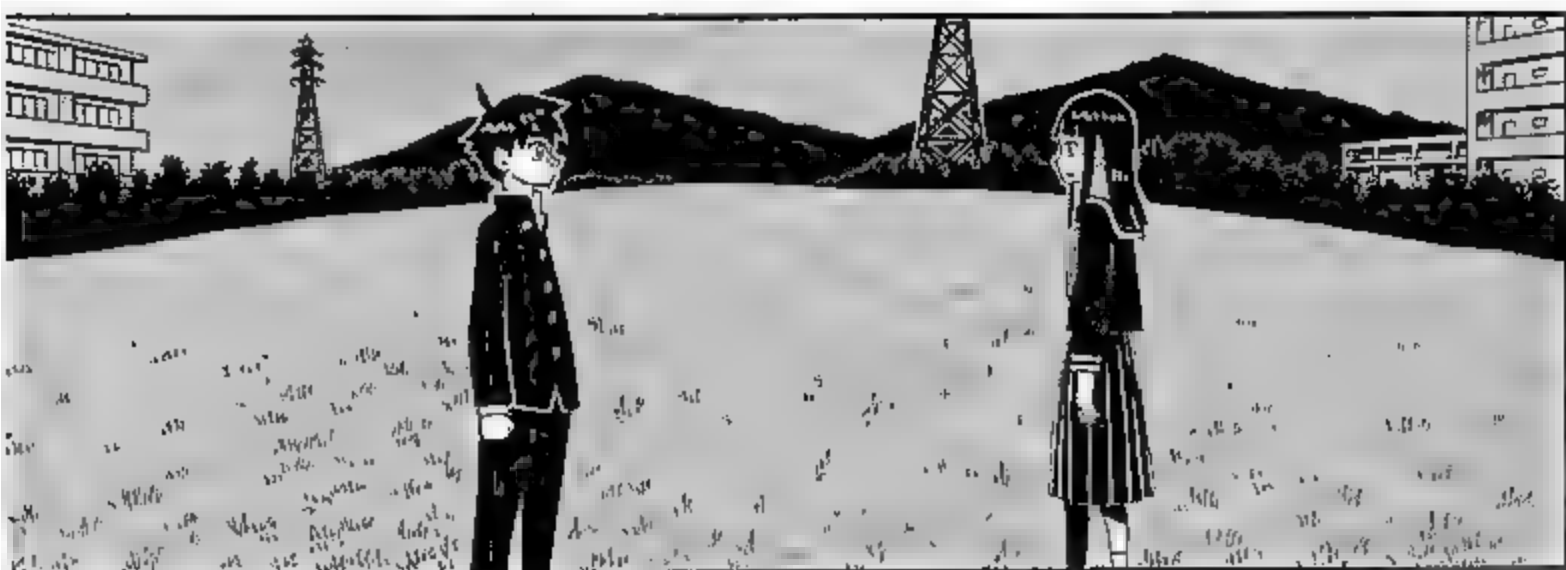
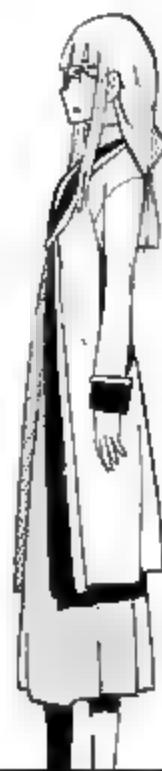
歴史は

分岐する

おれ達の娘が  
教えてくれたんだ

未来も過去も  
決まってるなんて

大丈夫  
絶望するのは  
まだ早い



や助かったよ  
石神さん

さっきのパンチで  
頭の中晴れた

おれラファルに  
かなり吞まれてた  
みたいだ

方太郎の  
影響も  
あったかも





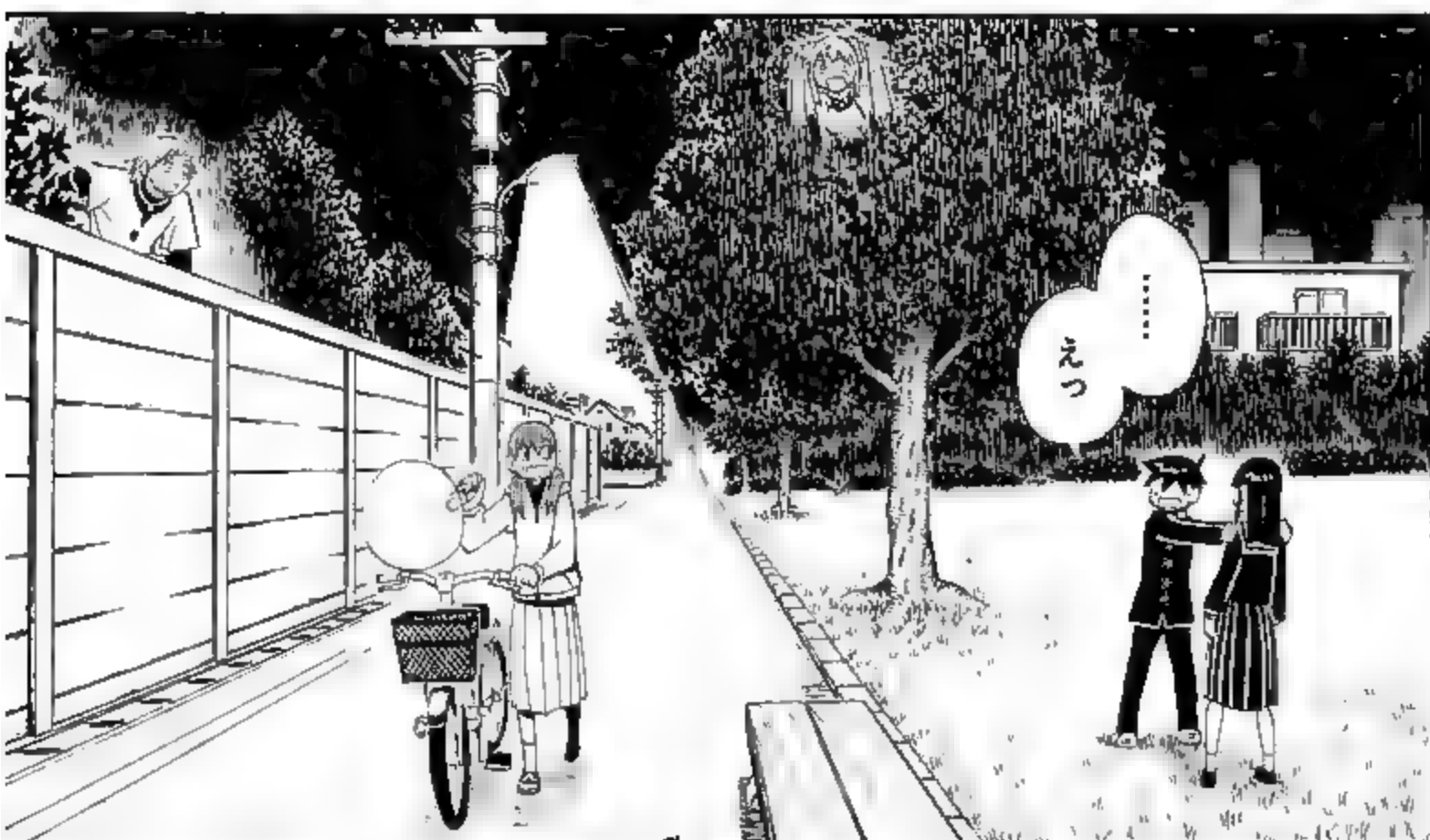


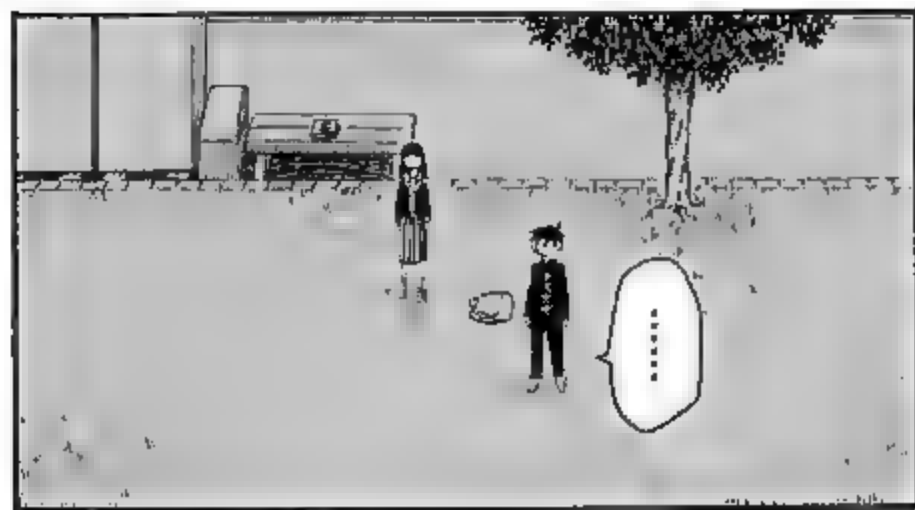


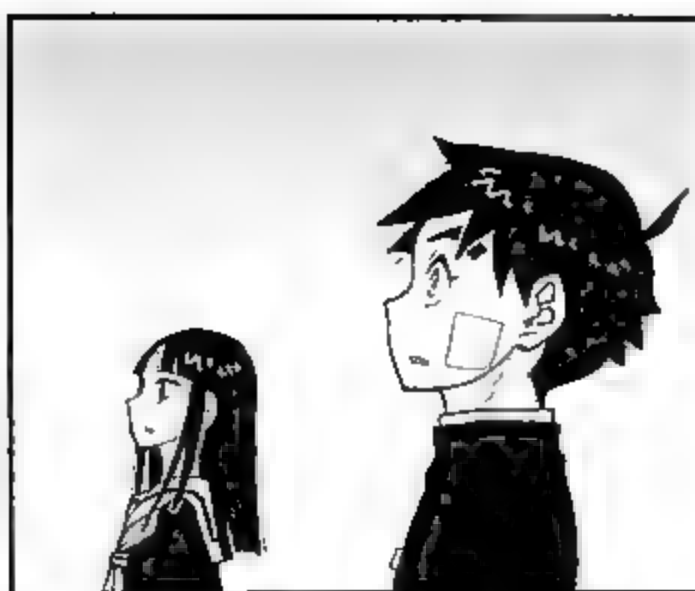
31輪目  
告白・2

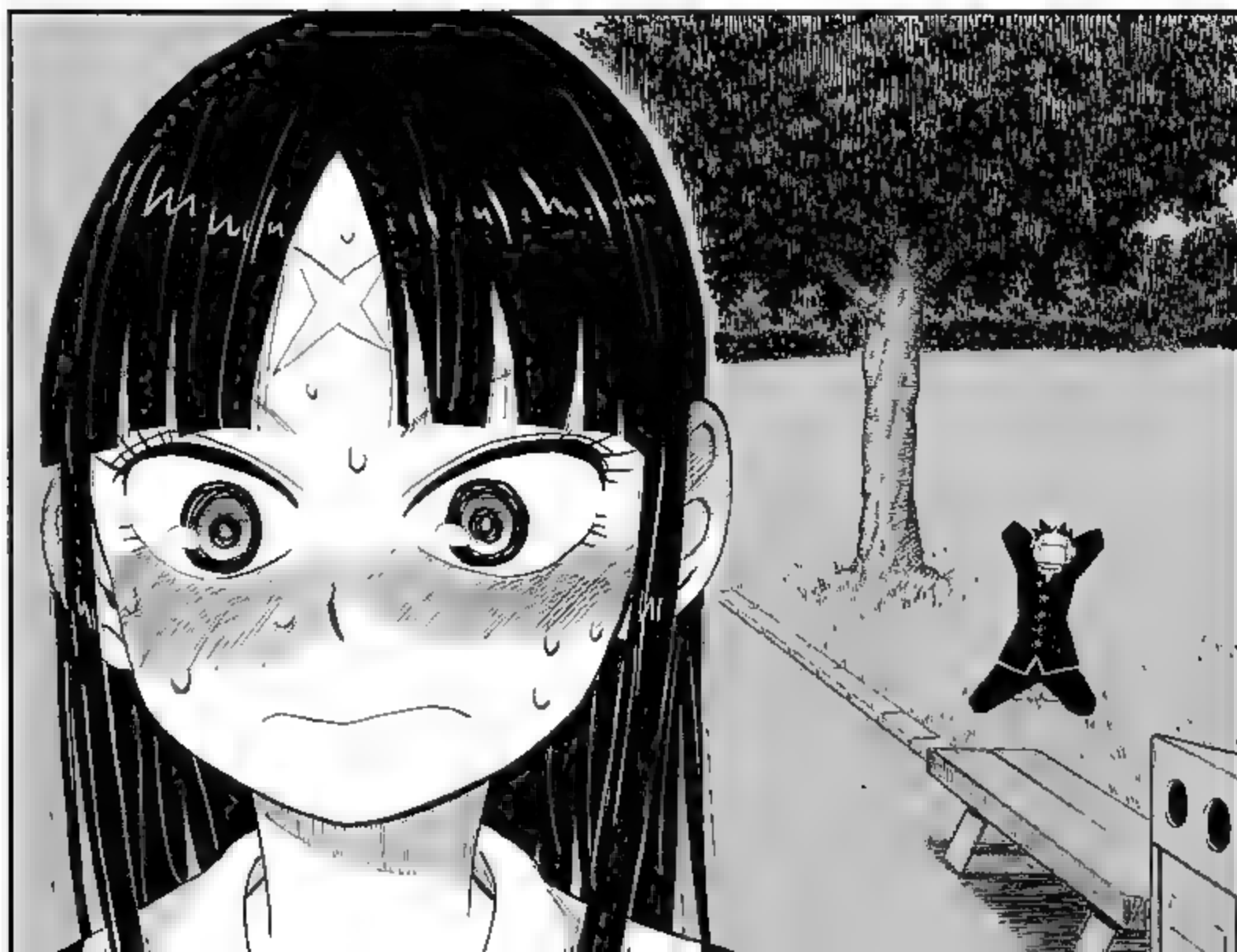




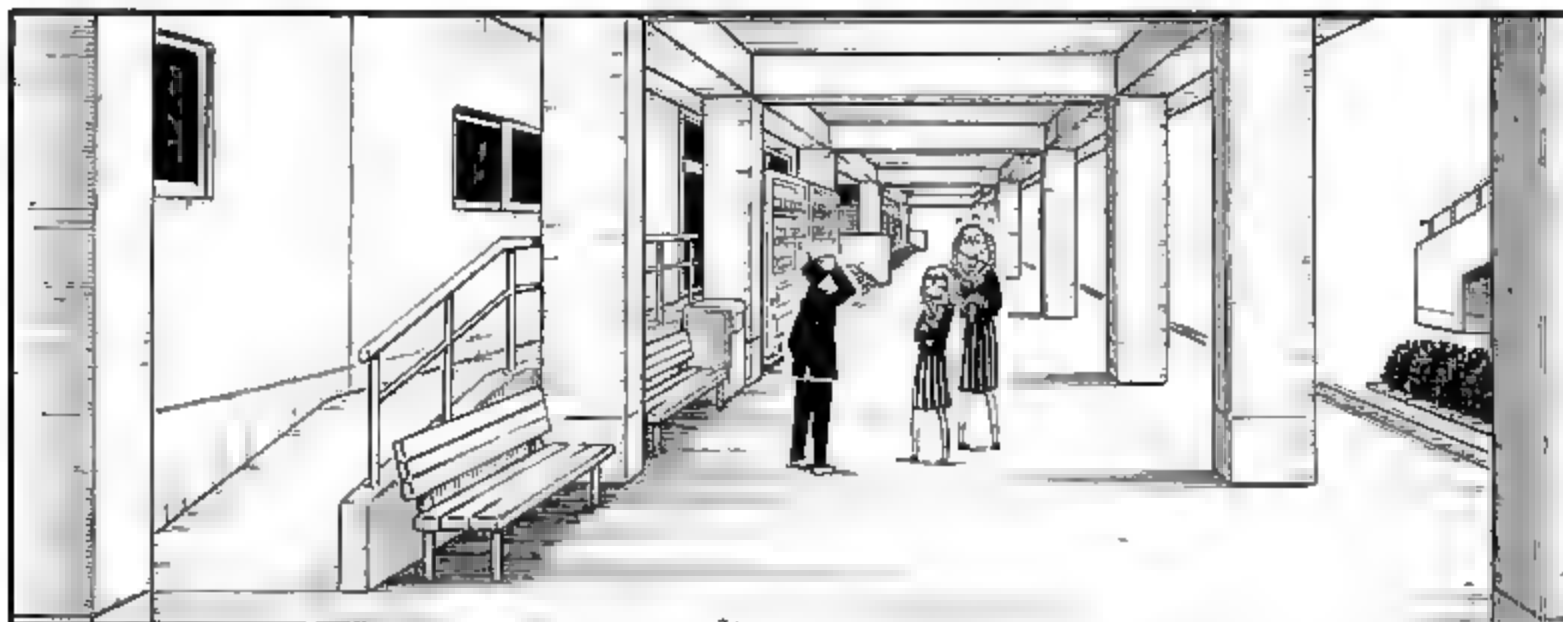




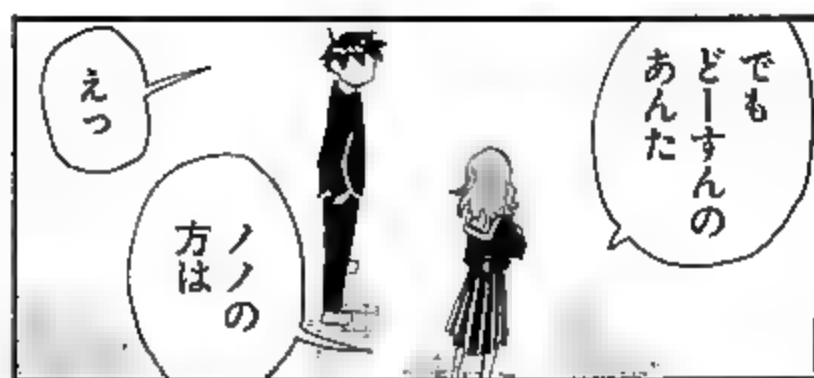




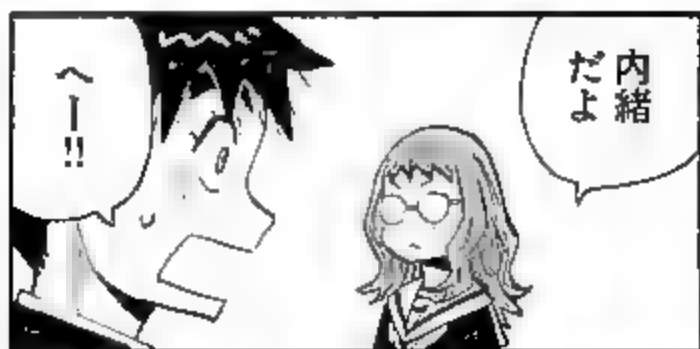






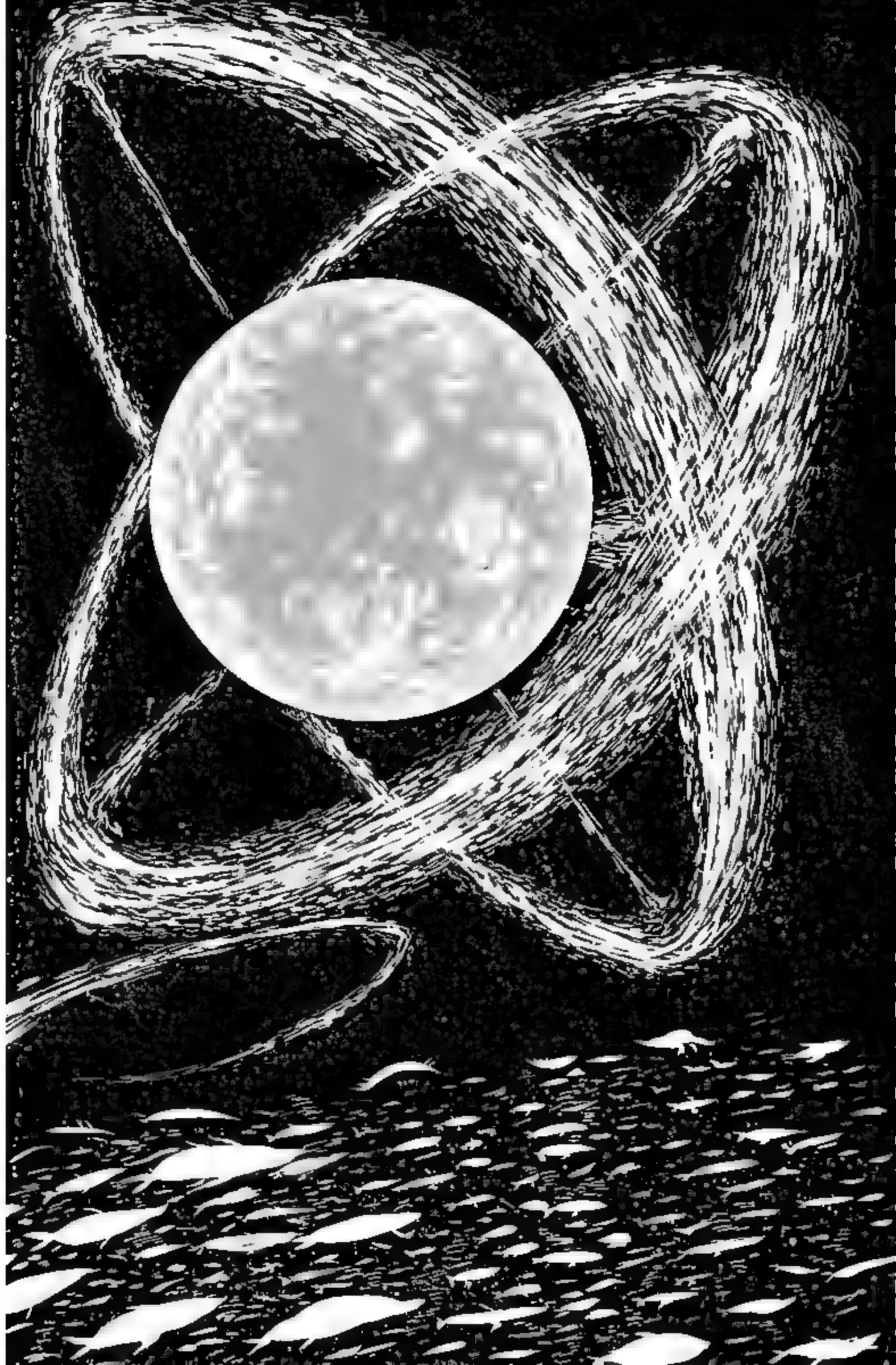






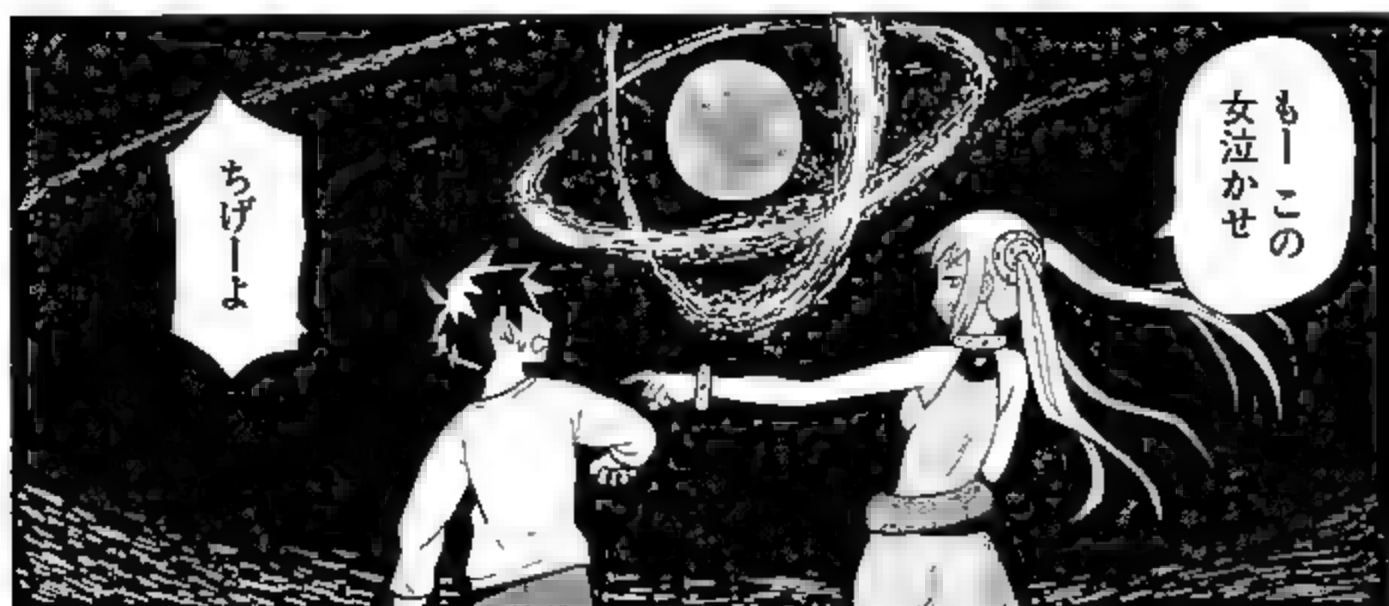


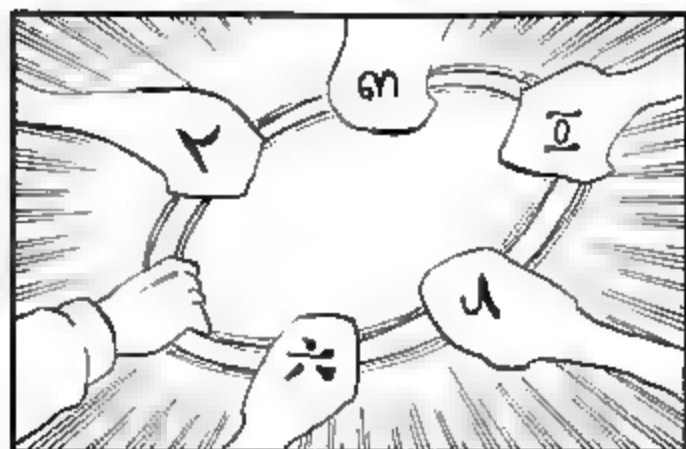
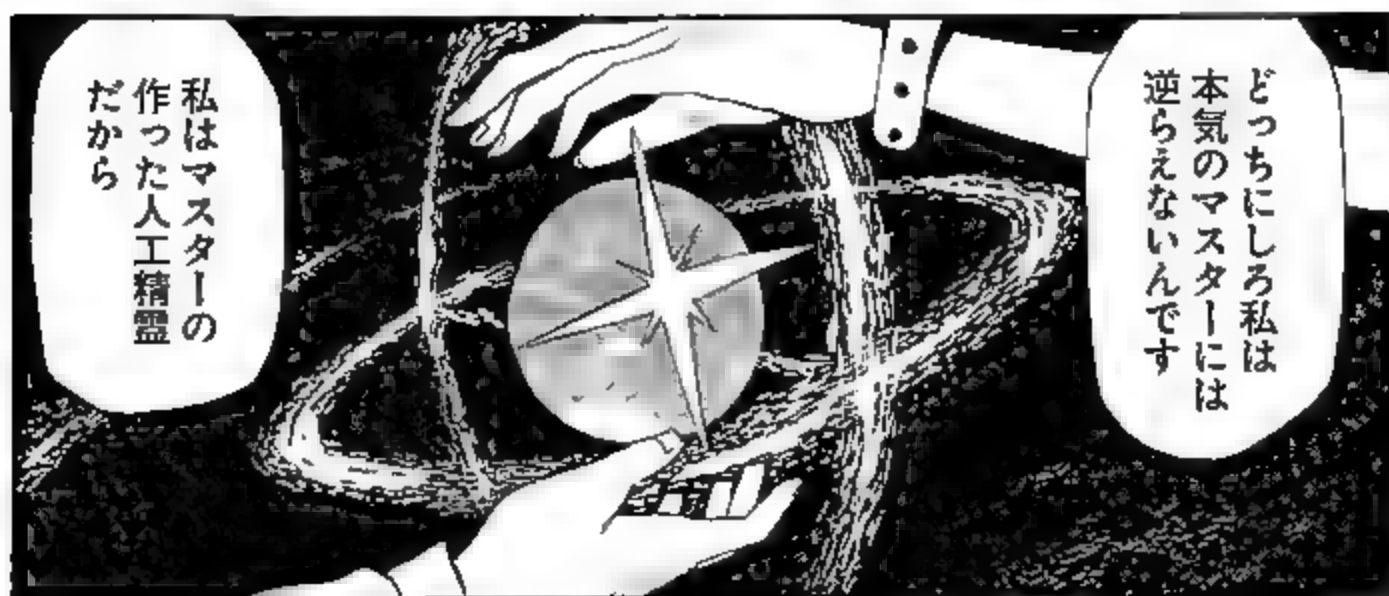












マスターは  
私がマスターの言うことを  
よく聞いてがんばれば

私を人間にして  
くれって約束して  
くれました

なれます  
かねえ…

ほゆん

ほゆん

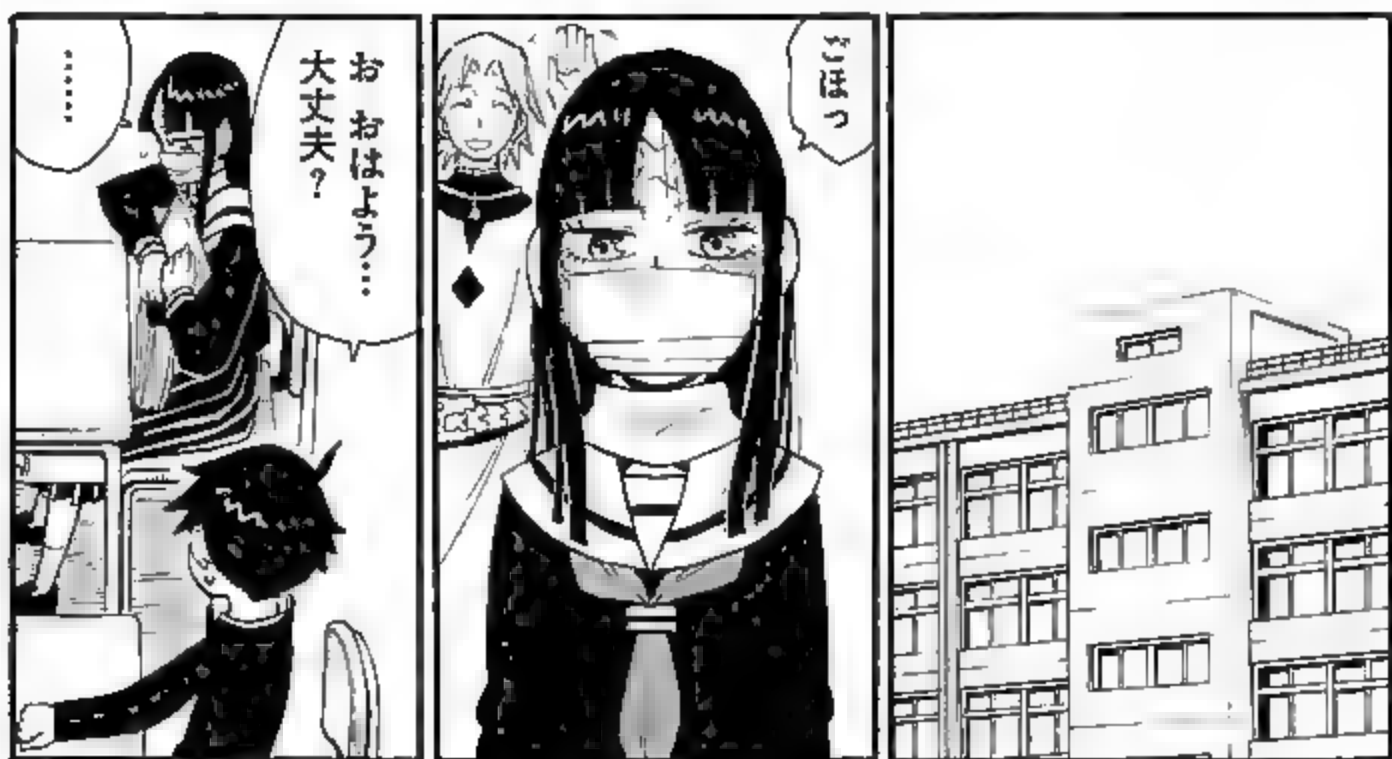
ほゆん

ふか

ふか









あと2つ



あと2つ

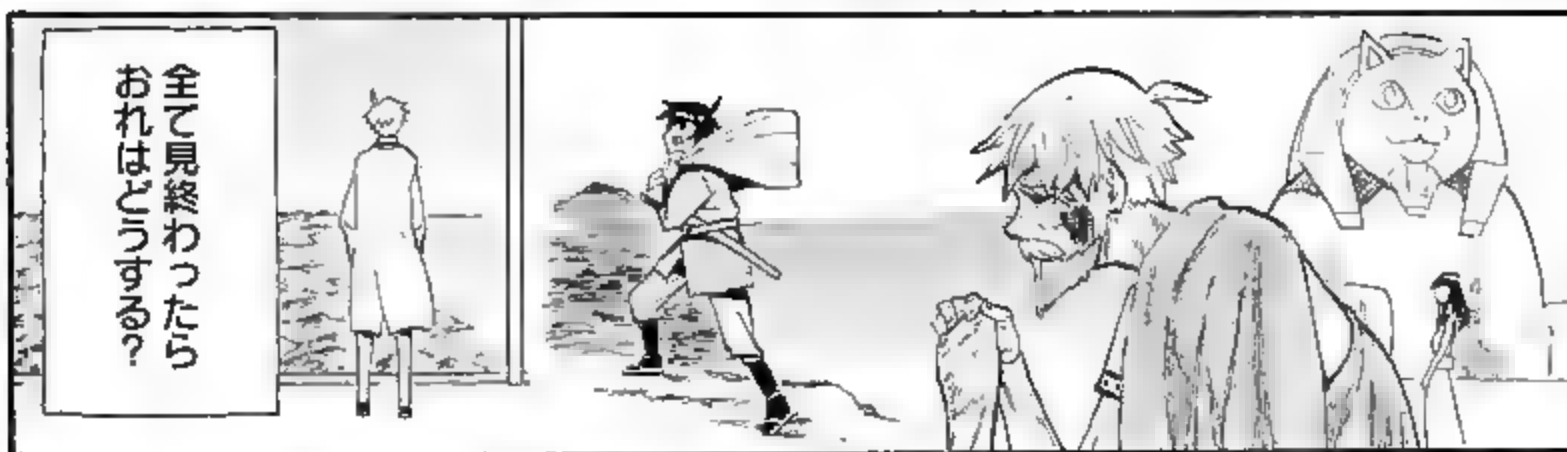
夏の終わりにから  
始まった魂の旅が  
もうすぐ終わる

1

IV



全て見終わったら  
おれはどうする??



……  
終わらせれば  
いい

フルトゥナ

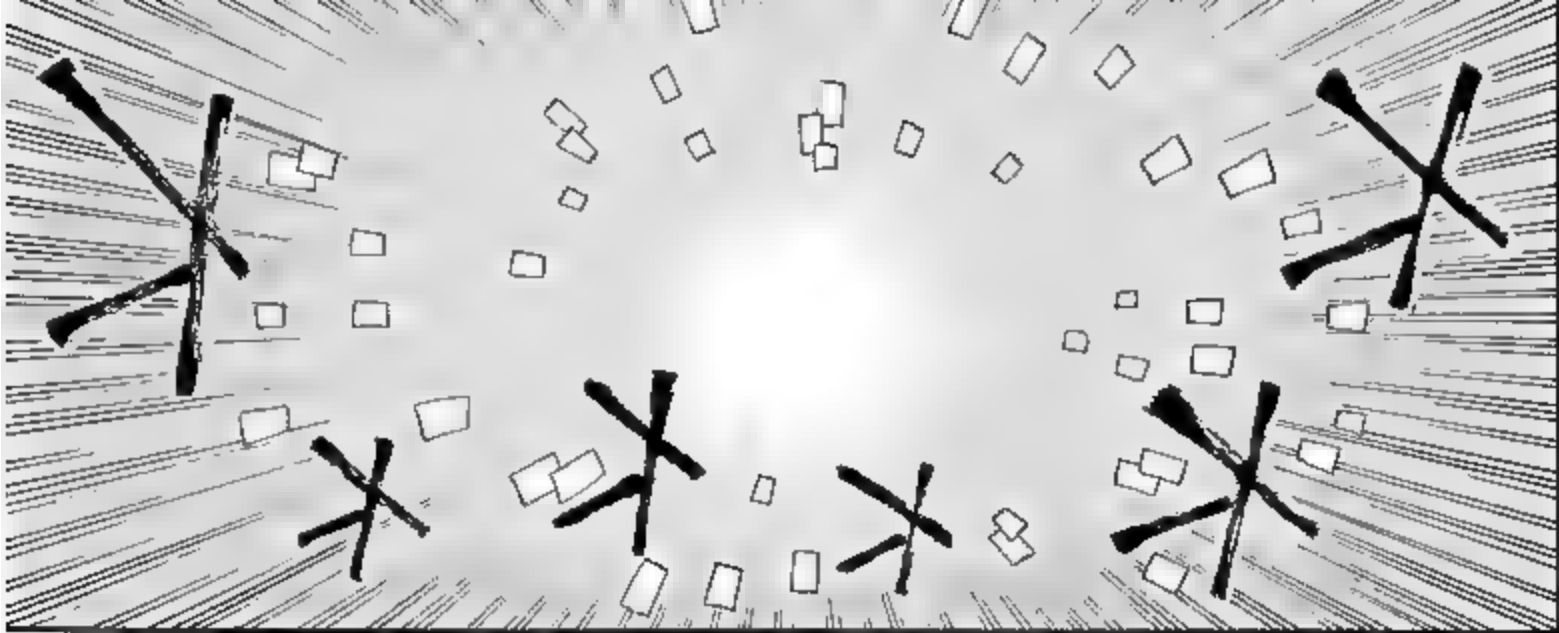
お前が何を  
企んでる??



この因縁を  
終わらせてやる

おれが!!





[32輪目]



平凡で何も成さず  
誰とも争わない

次の過去生は  
つまらんぞ



よう

ラファルは  
面白かった  
だろ？

ここで  
残念な  
お知らせだ



ちょ

ネタバレから  
入んな!!

まあでもお前の  
主観順序にとっては  
面白いかもな

うらやましい  
くらいだ

なにせ  
次の場所は



32輪目  
風子







しやわ  
昭輪91年

電腦の網が  
世界を覆いつくす  
科学の時代になっても  
アレの正体は  
いまだ不明

通称「不二屋根」  
と呼ばれる  
この巨大空中静止体

もはや普通の光景に  
なりすぎて誰も興味を  
持たない不二屋根の謎を

私達が夏休みの  
暇に飽かせて  
解き明かしてやるのだ!!

おー





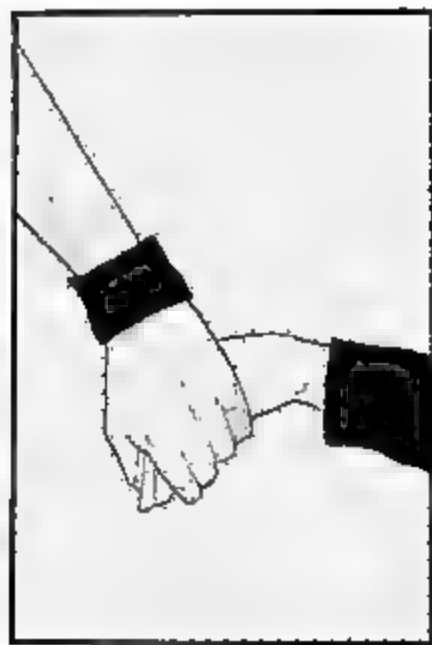
約300年前  
靈峰不二の上空に  
突如出現して以来  
微動だにしてい  
ないらしい

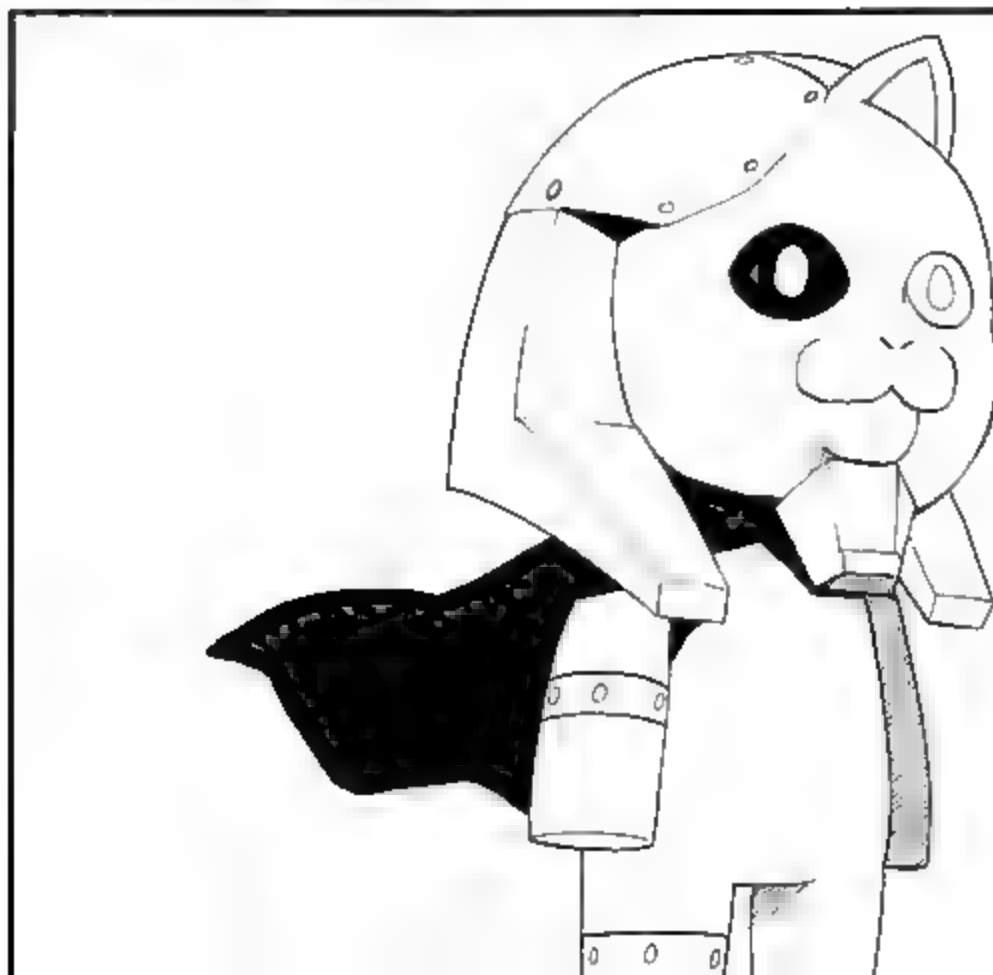


## 第7章

「風子」





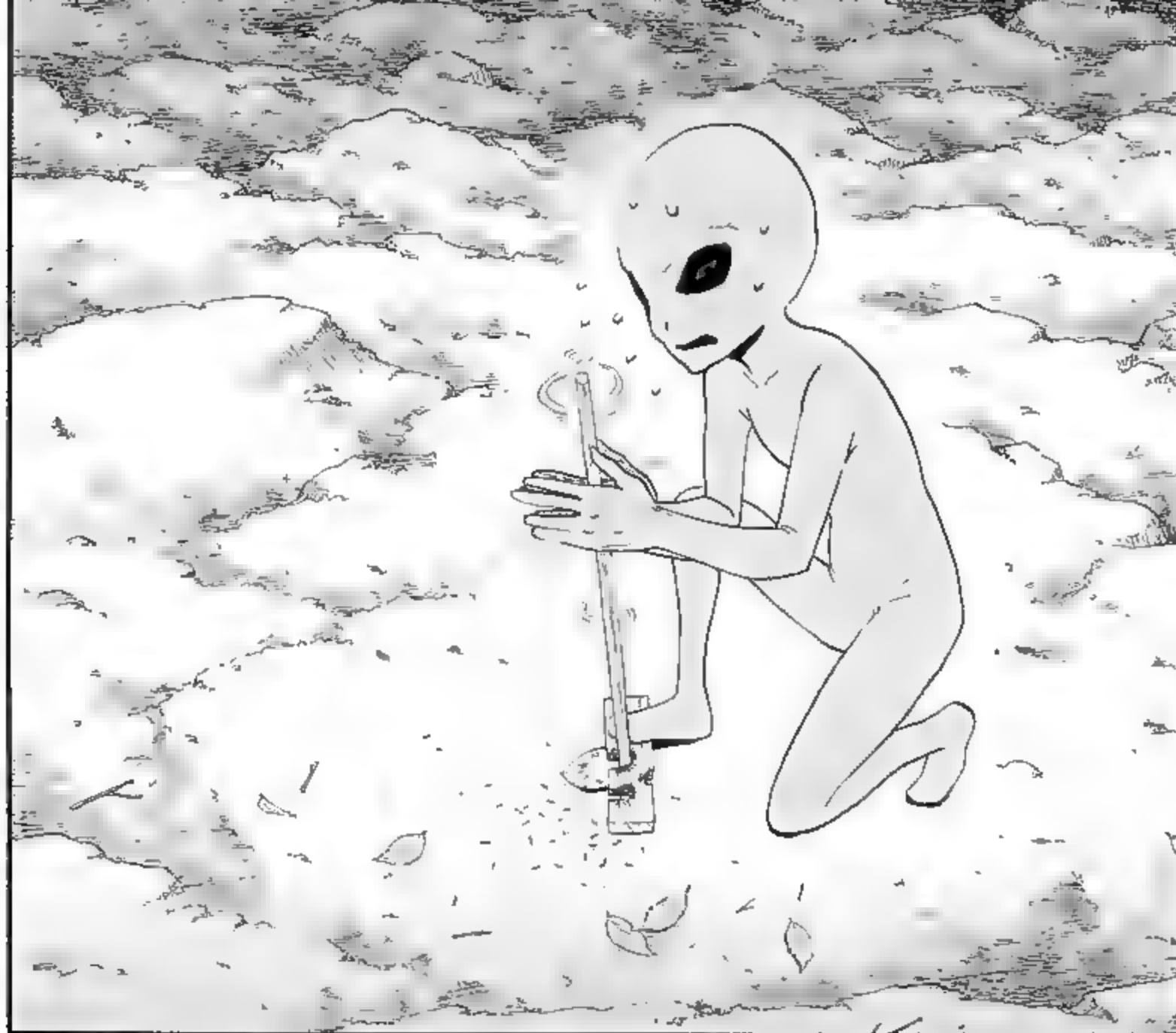


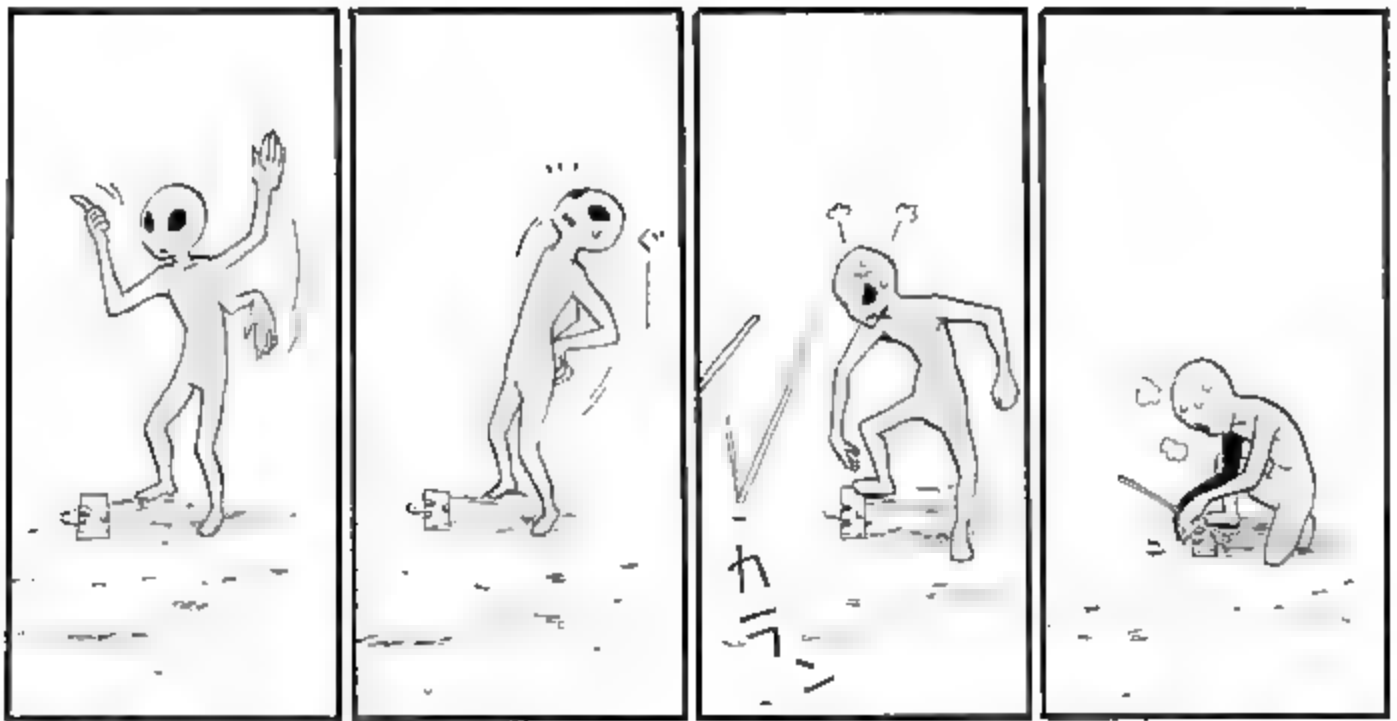
シ  
千 千 千 千 千  
千 千 千 千 千

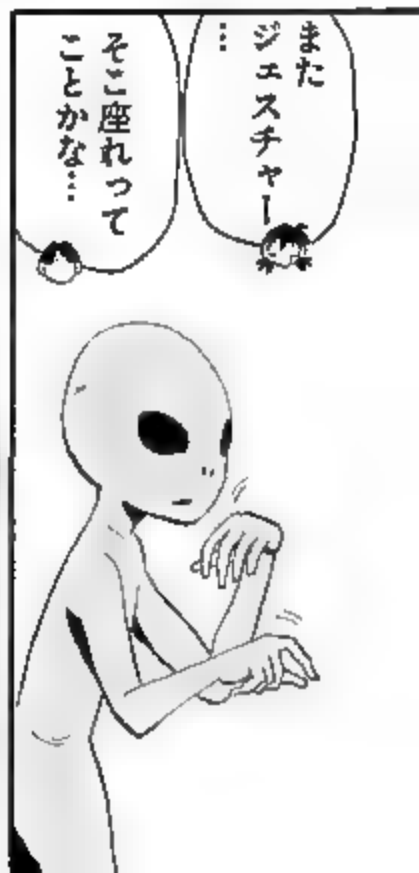




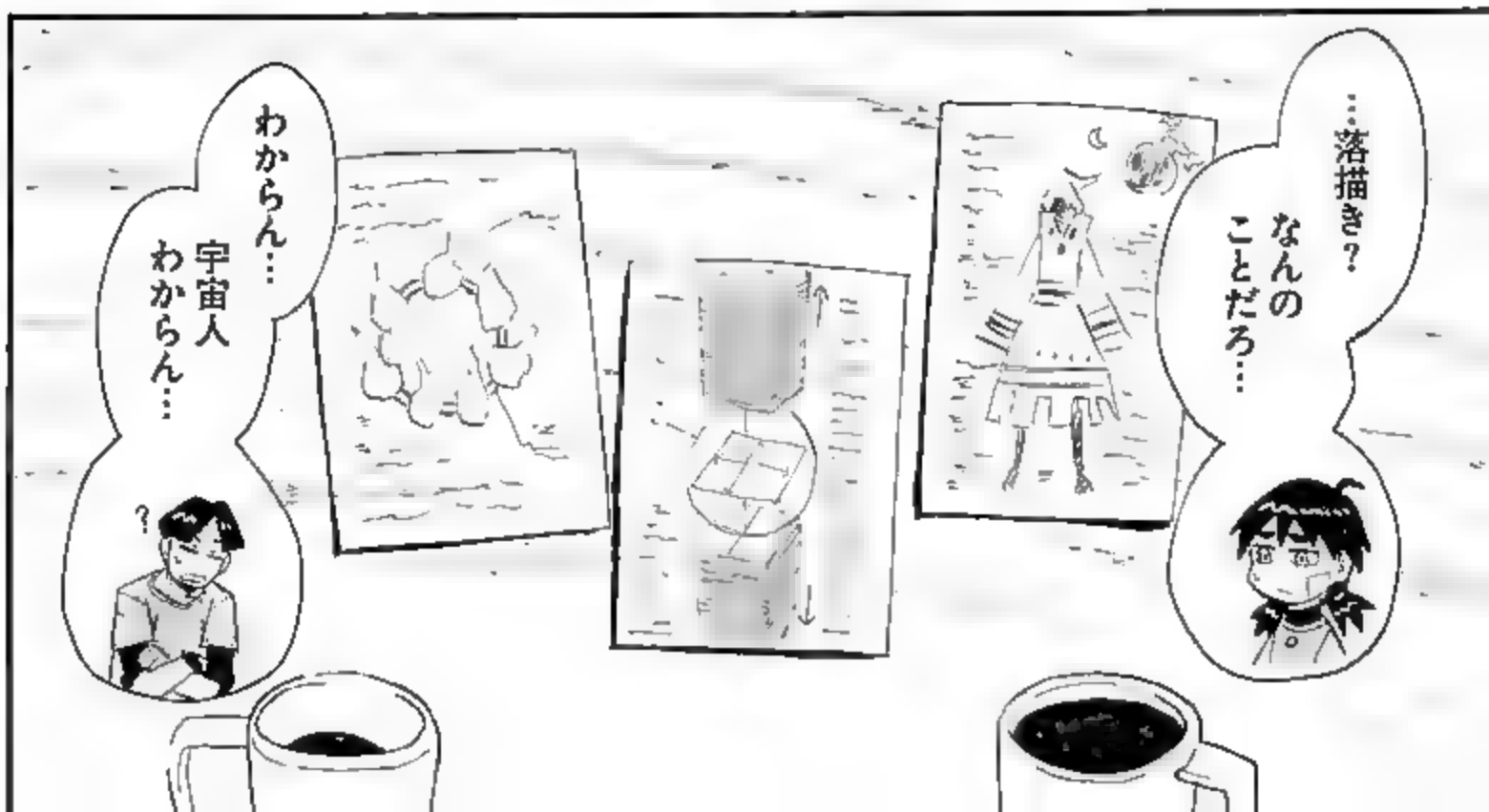
















6/14/21







その後私は  
地質学者に  
なったが

不思議と私以外の誰も  
アレに興味を持たず  
一度もまともな調査は  
出来なかった

それから  
50年経った今も  
正体不明のまま

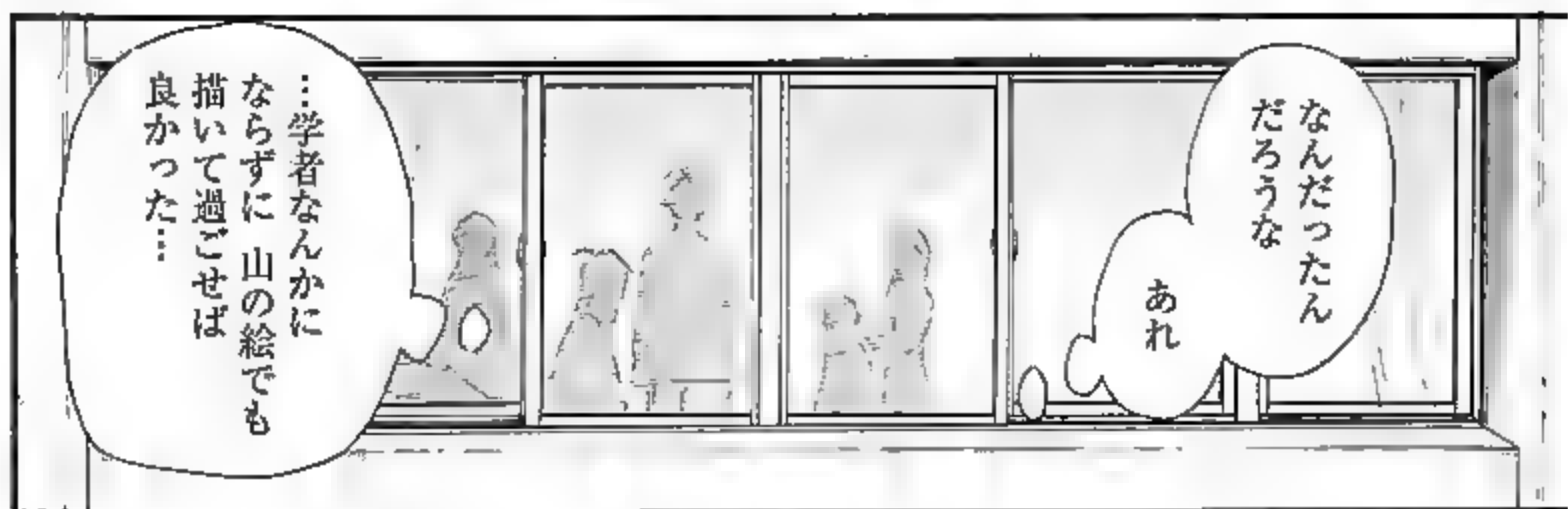
晩年入った  
病室からは  
不二屋根が  
よく見えた



なんだったん  
だろうな

あれ

…学者なんか  
にならずに山の絵でも  
描いて過ごせば  
良かった…



なんじゃ  
そりや



32輪目／完



33輪目  
デート





休みに急に呼び出し  
たかと思えば  
ファミレス…

おれ そんな金  
持ってないけど…

ファミレスくらいで  
ビビらないでよ

好きなの  
頼みなさいよ

奢るから

おごっ…!!  
なんで!?

かわいい女の子には  
食事を奢りたく  
なるのも男心よ

フーコちゃん

なにに  
言っただ  
石神さん

前世に吞まれ  
てんじや  
ねーのか







おれ達は  
ネコロボを見た

頭に修理痕が  
あるネコロボを



あれはラフアル達<sup>おれ</sup>が  
死んだ時の大崩壊  
よりも先の時間を  
過ごした  
ネコロボだ

ネコロボは  
生きていた

カールが  
直したんだ



地球は

人類は

滅びて  
なかったんだ

だから  
お祝い



この喜びは  
桶屋くんとか  
分かち合えないん  
だからさ

今日は  
付き合ってよ

うわ

石神さんって

こんな顔も  
するんだ…

祝いなら  
酒だ

酒を

ひっこめ  
おれの中の  
おっさん

それにしても  
ネコロボ自身が  
タイムマシンだった  
なんてな…

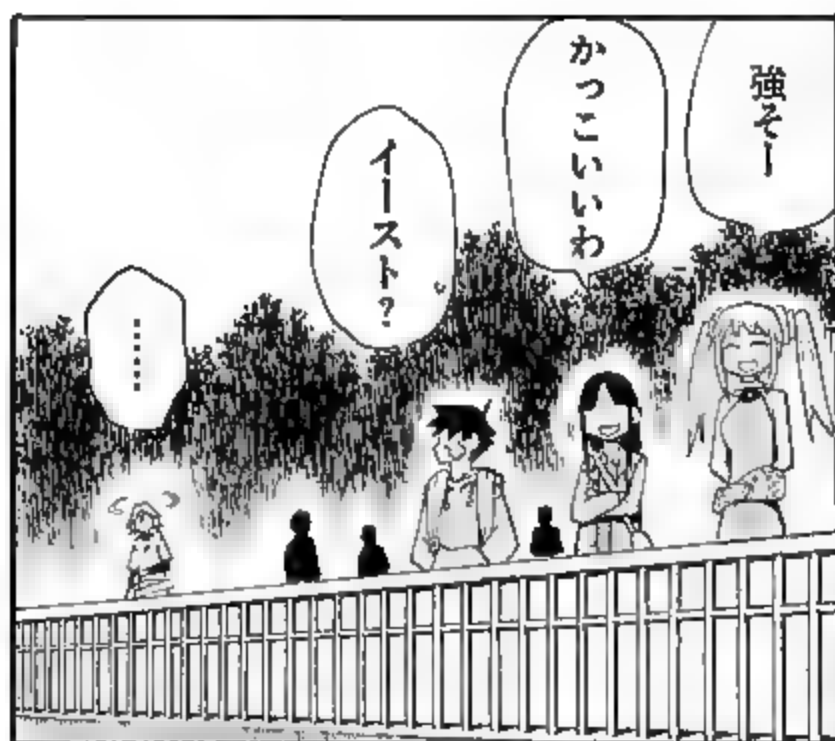
わしゃあの  
顔が気に  
入らんのか…

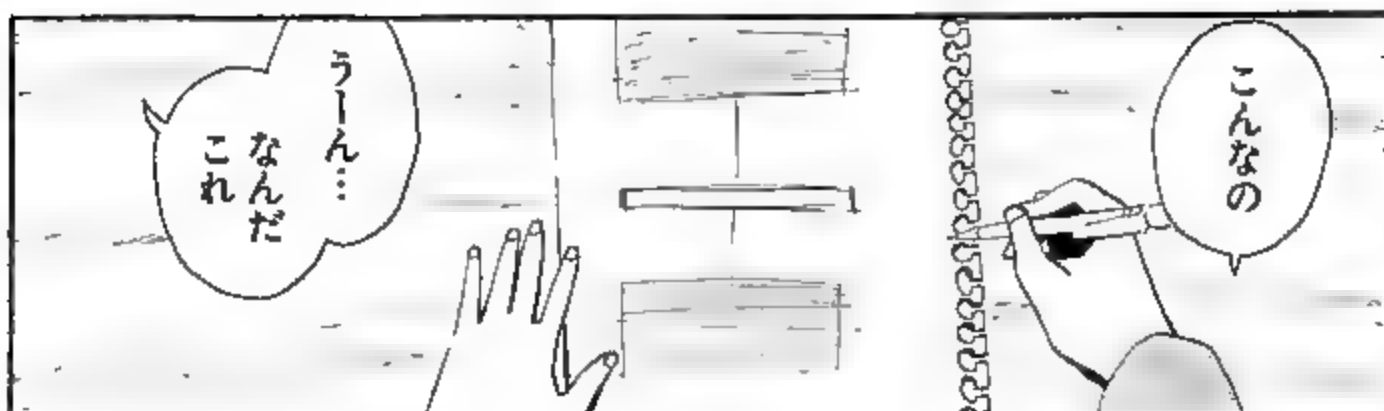
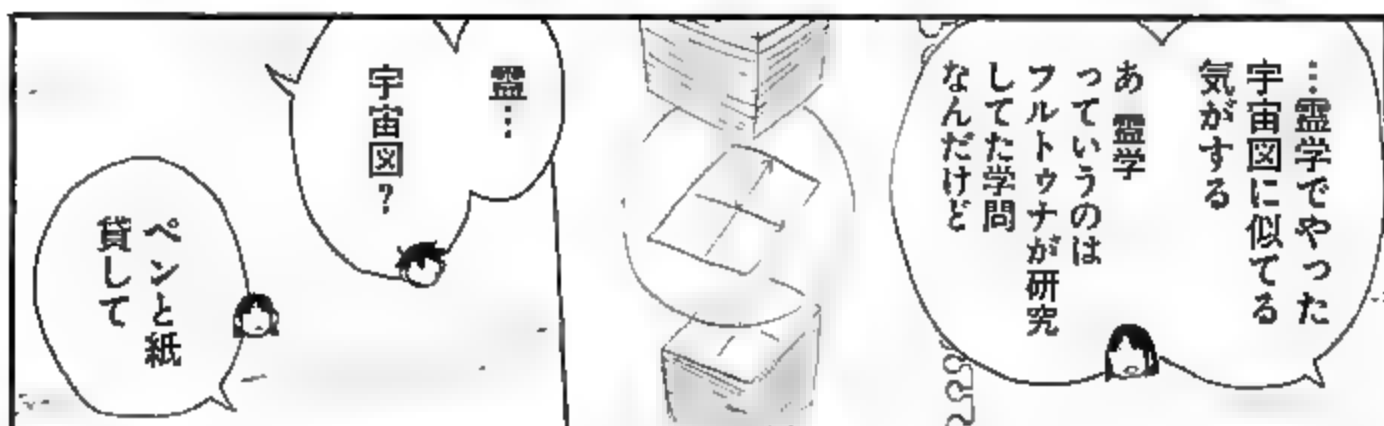
酒々

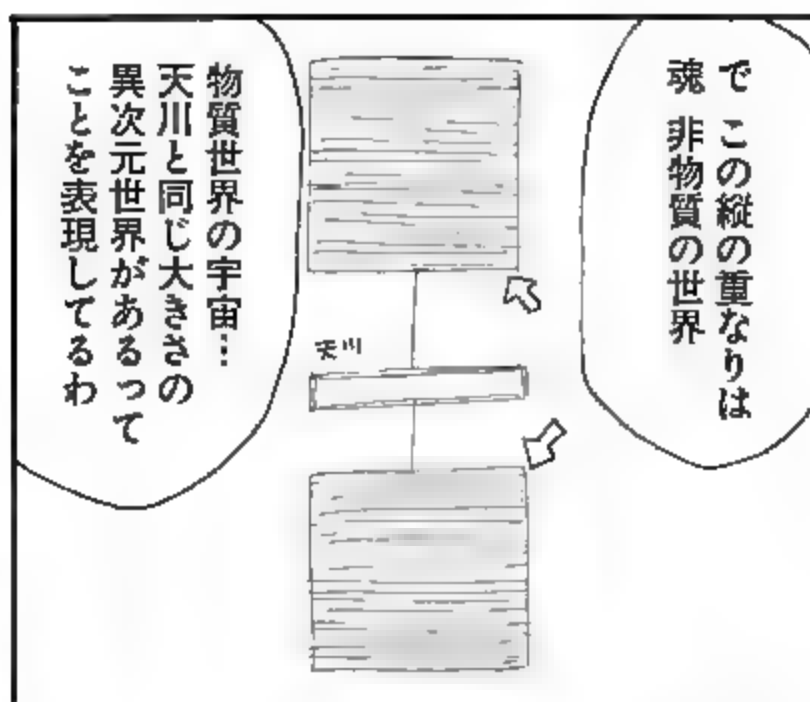
おれも  
飲みたいな

うるせー!!

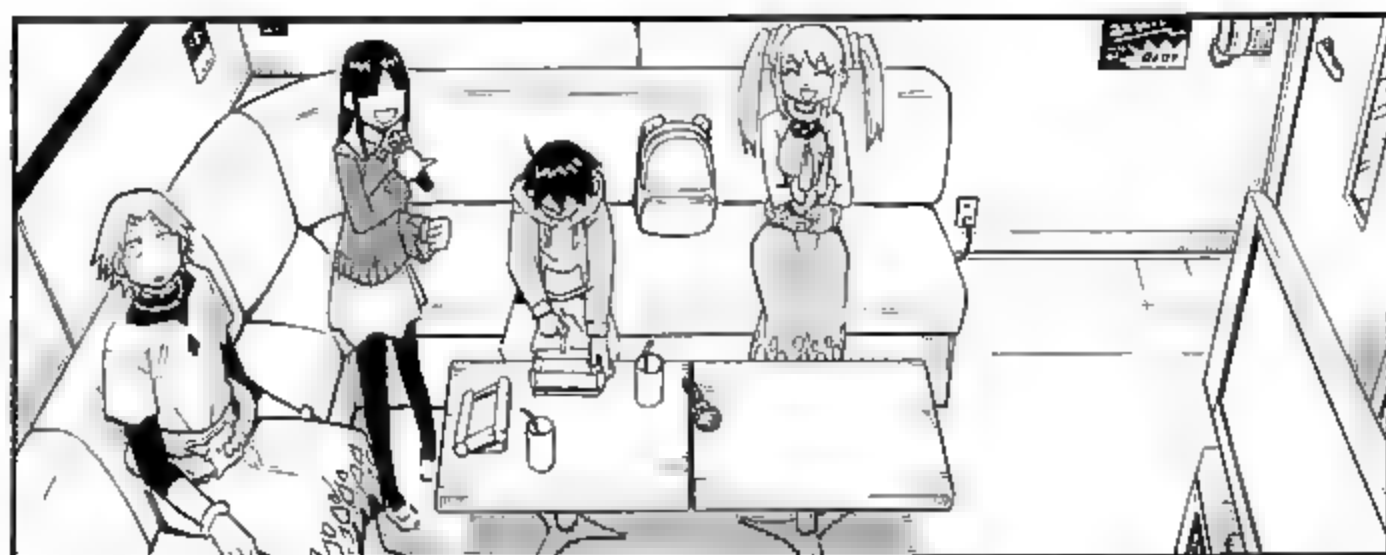


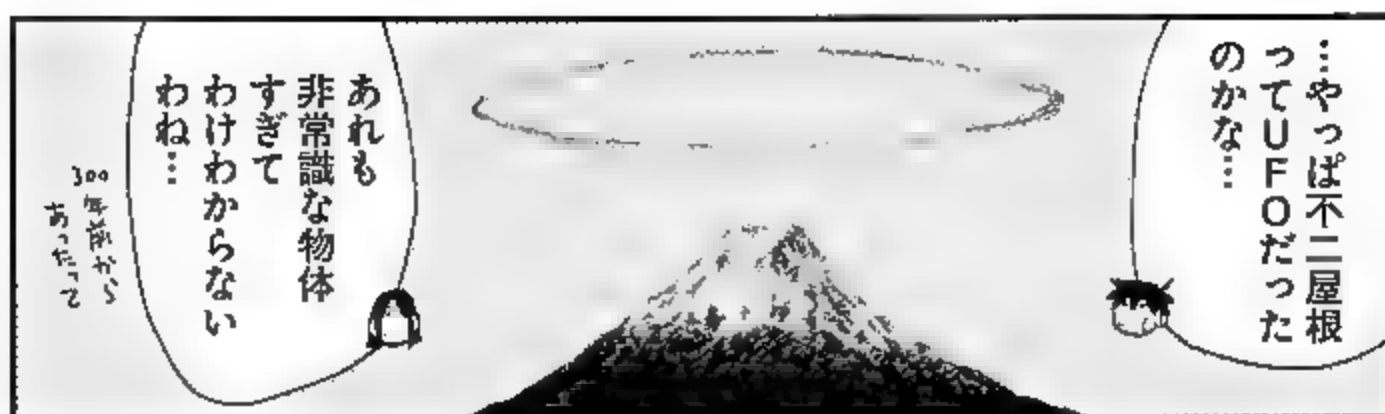


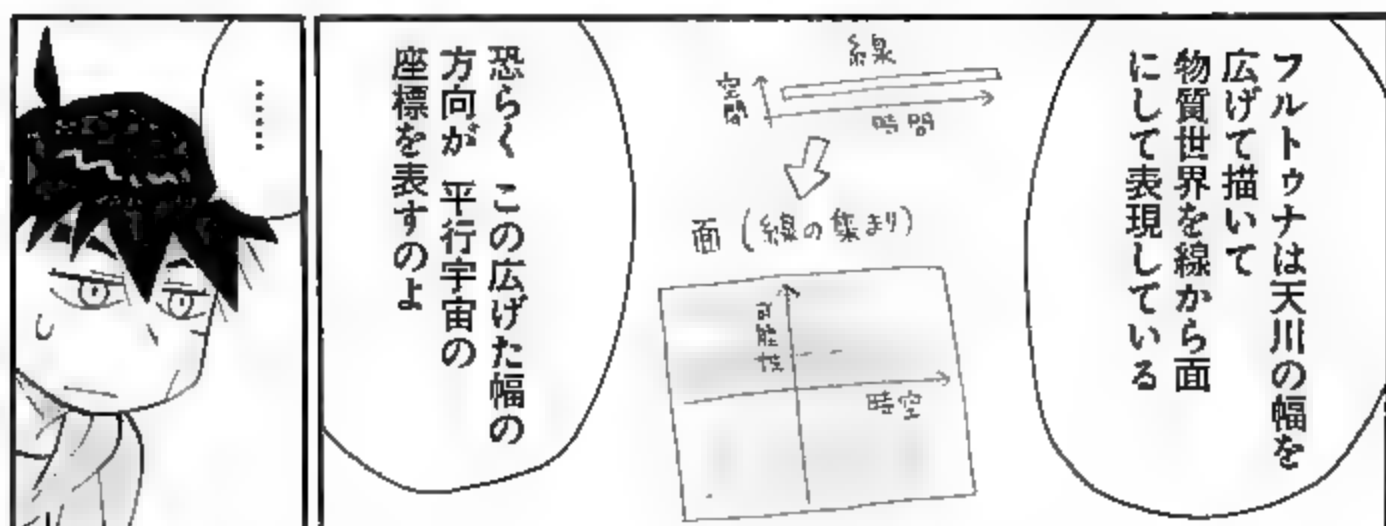












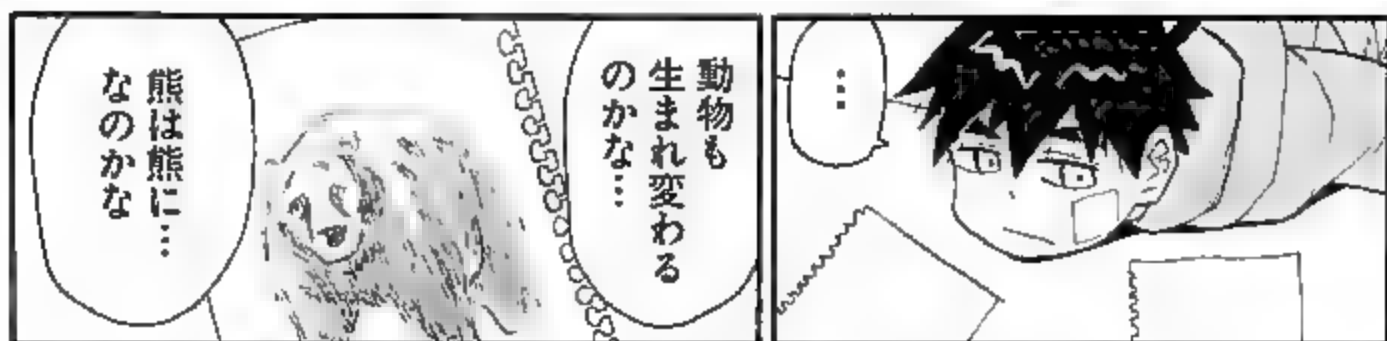
時間も

空間も

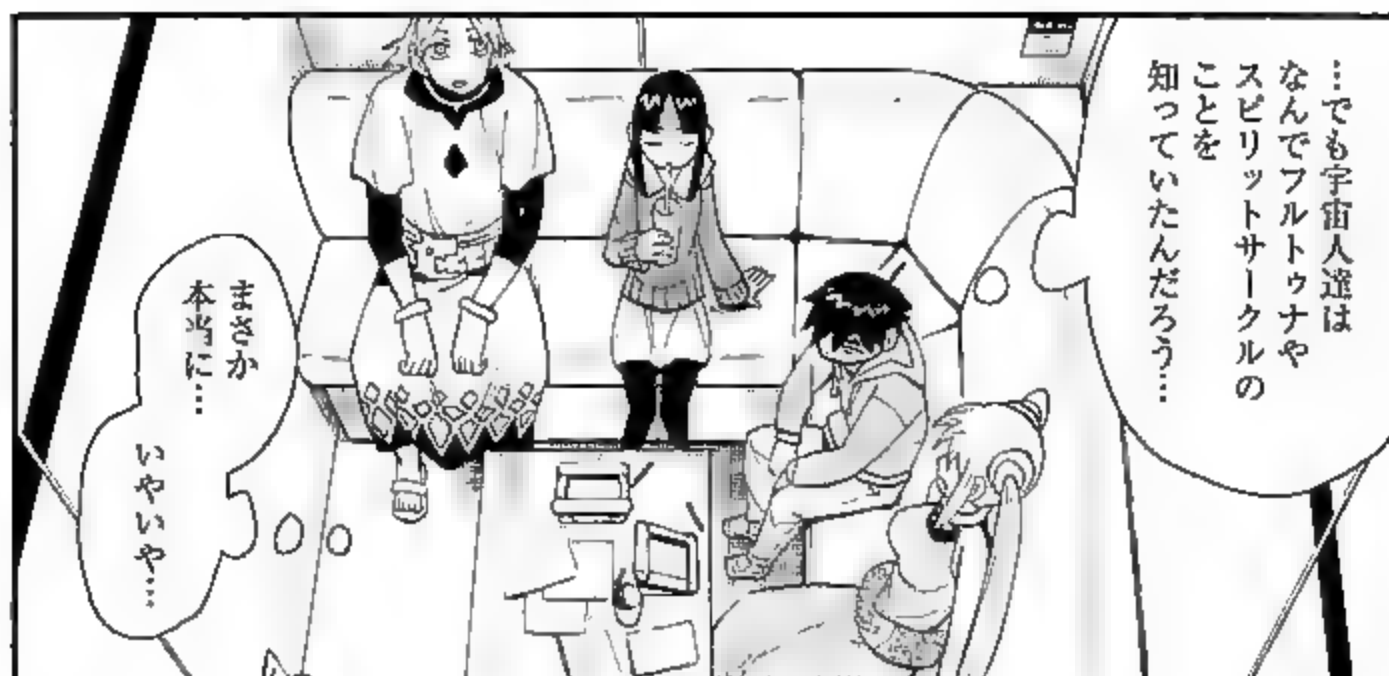
可能性の  
ゆらぎさえも

魂の次元にとっては  
ただの距離  
なんだわ…

いーよもう  
わかんねーって…









全部  
見せた

石神 鉤子が  
桶屋 風太に  
見せたかった顔は







そして私は

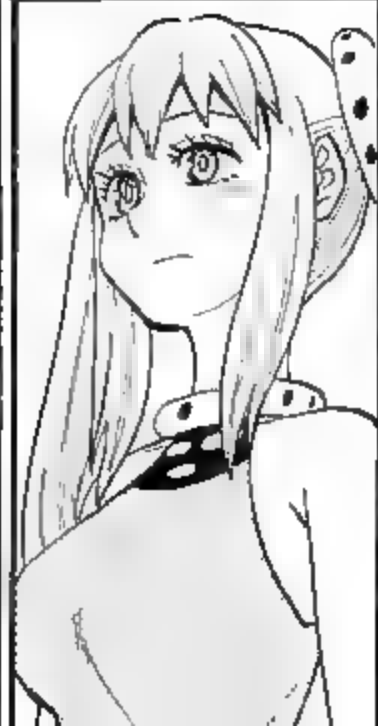
戦士の自分を  
取り戻した



私は  
イーストの娘  
戦士ココ

次会う時は  
貴様の邪魂を  
砕く時だ

フルトウナ





それから

石神さんは  
学校に来なく  
なった

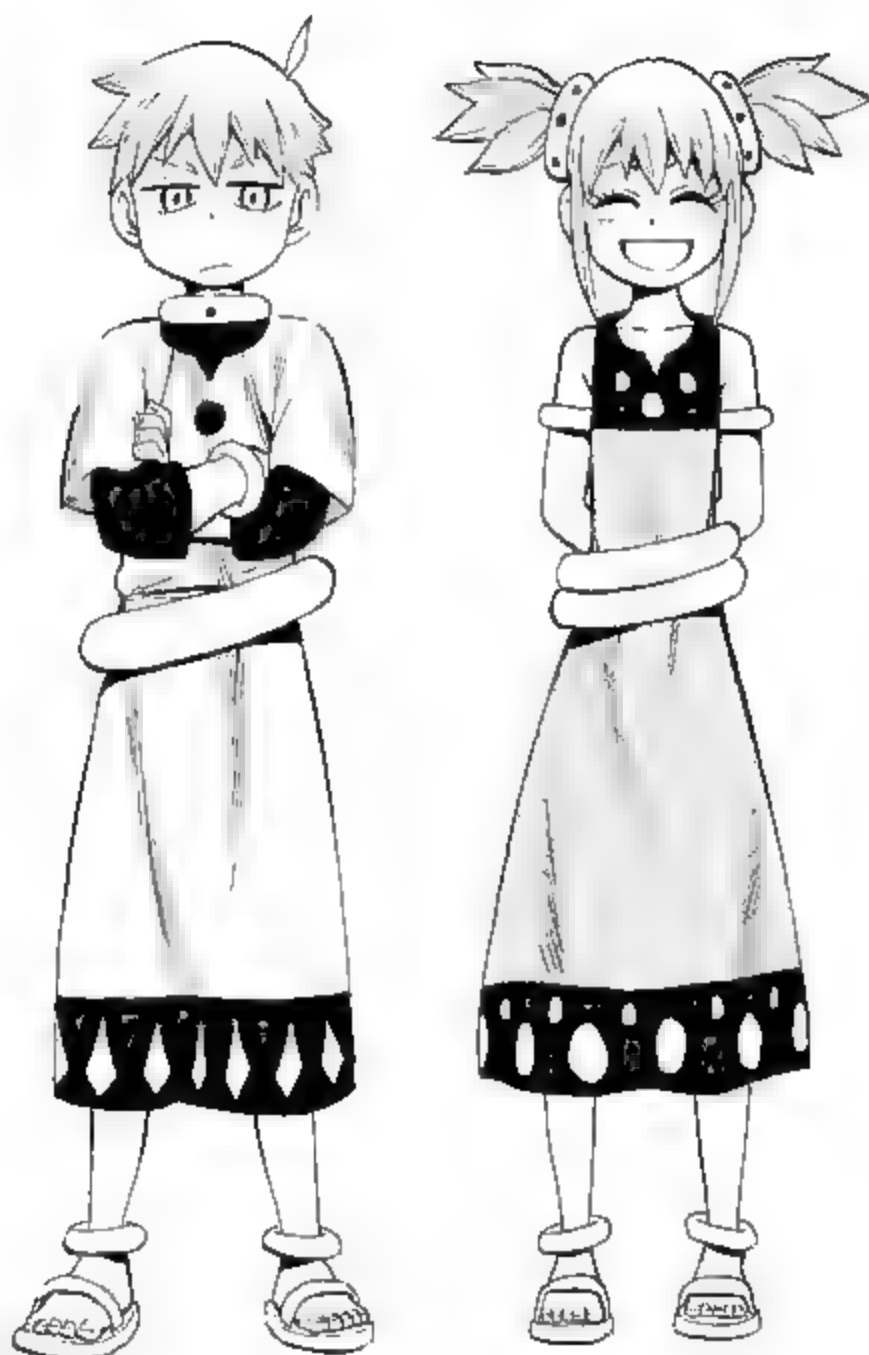
そしておれは  
決闘の2日前

第1の人生

フルトウナを見た

33輪目／完

34輪目  
フルトゥナ



これから  
見るのは

おれが見るべき  
最後の過去生

おれと  
石神<sup>いしがみ</sup>さんの  
因縁の

はじまりの  
物語

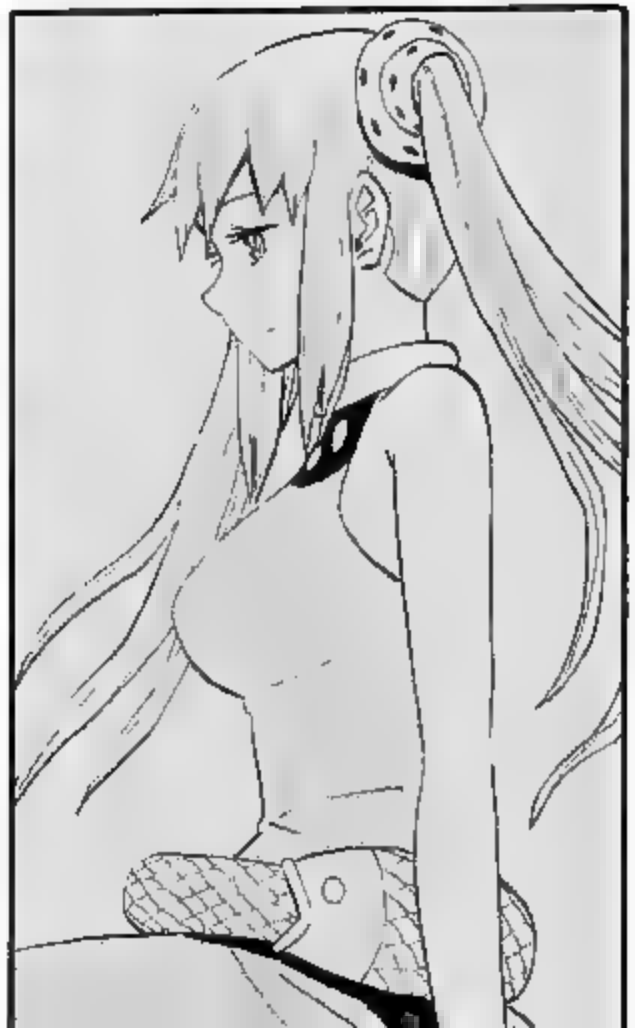
よう  
フルトウナ

待ちかねたぞ  
桶屋<sup>けい</sup> 風太<sup>ふうた</sup>

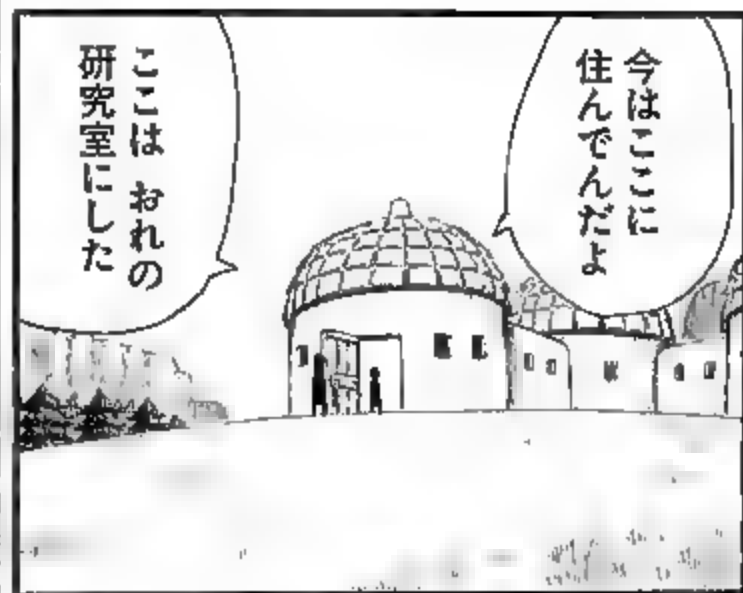
…お前とここで  
会うのも最後だな

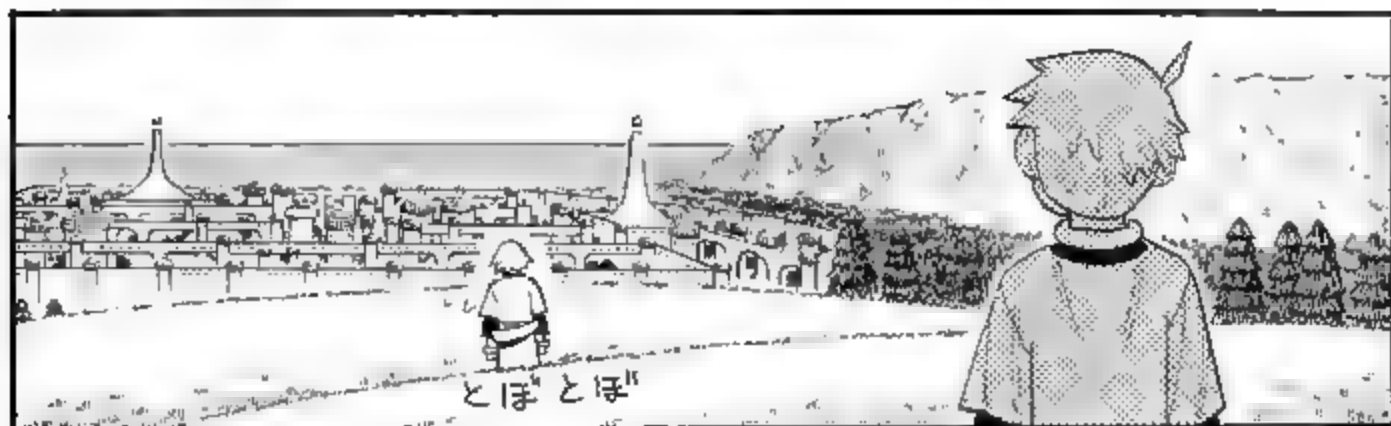
聞きたいことは  
山程あるけど…

おれの物語は  
お前の全ての疑問に  
答えを出すだろう







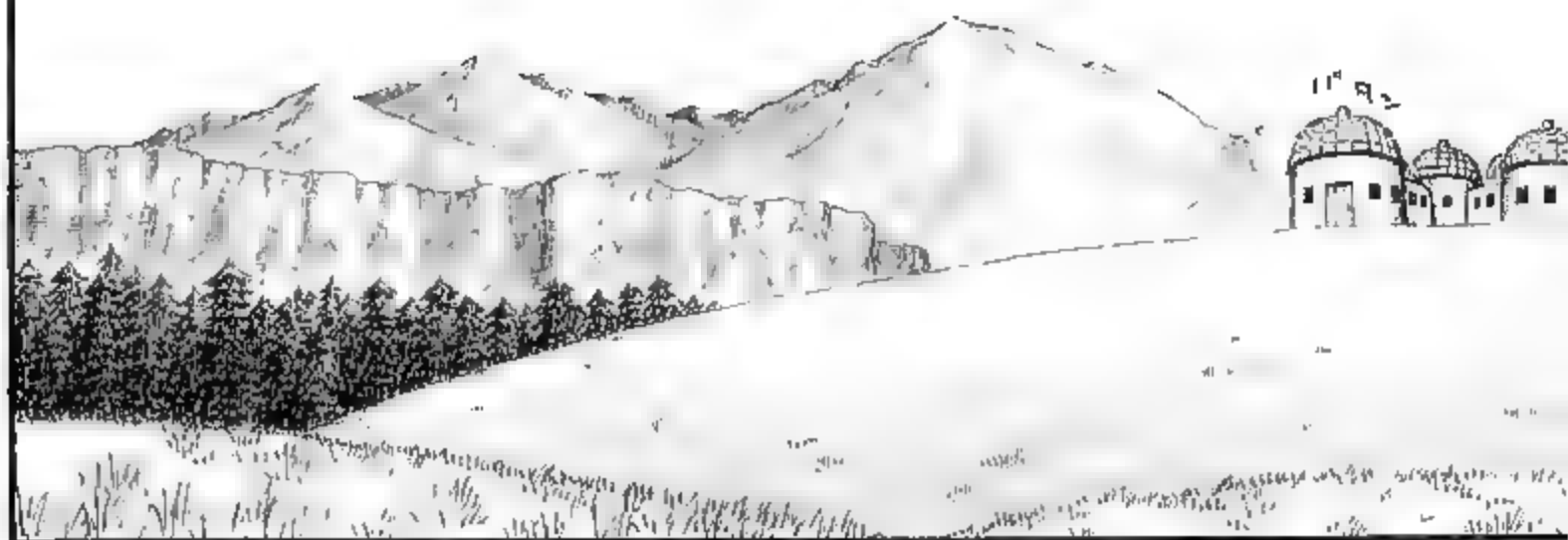




おれの天才性を  
理解できる者は  
少ない

理解できる者には  
妬まれ恐れられる

ここは  
張り合いのない  
退屈な世界



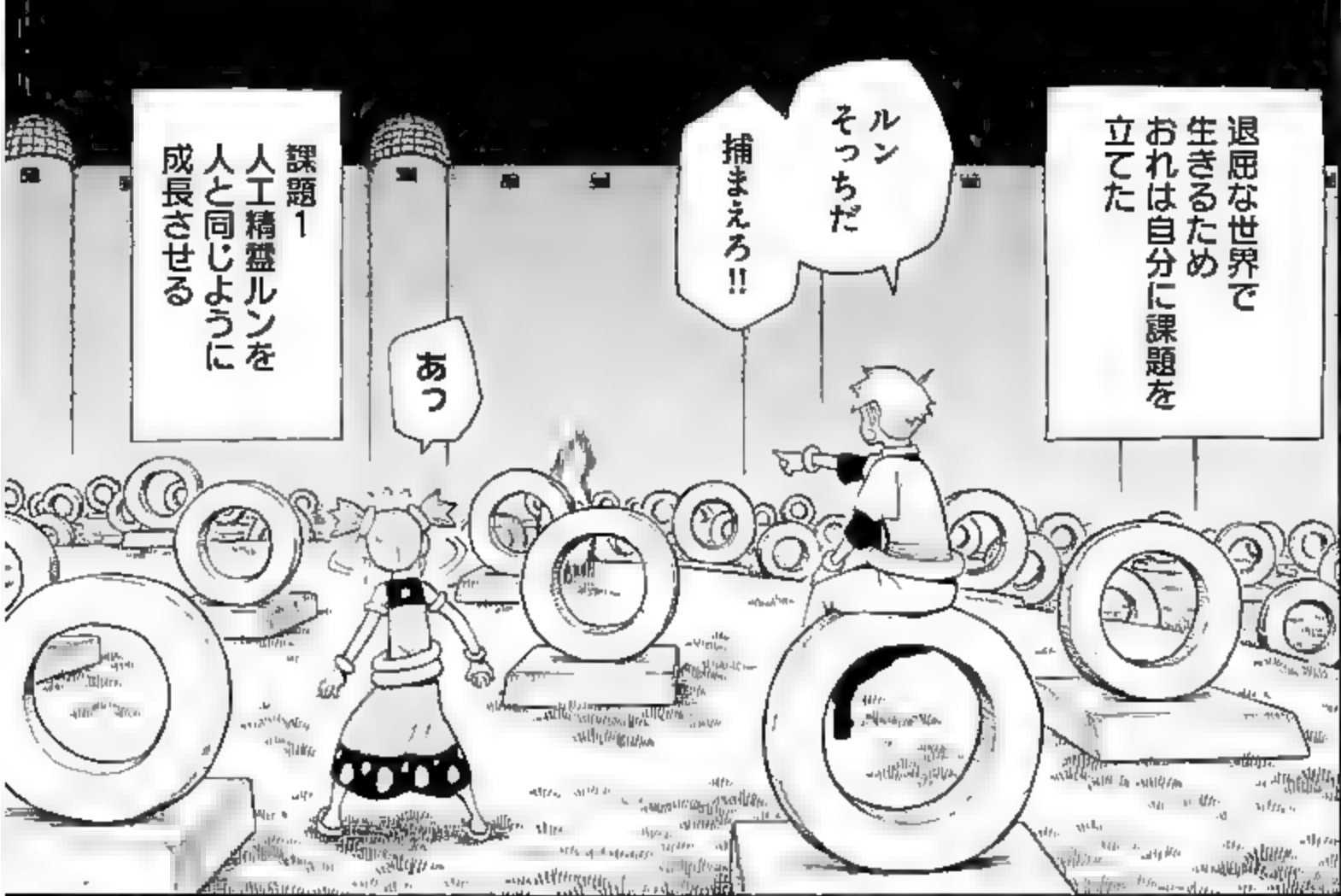
# 第一章

フー  
あそぼー

うるさい

「フルトウナ」



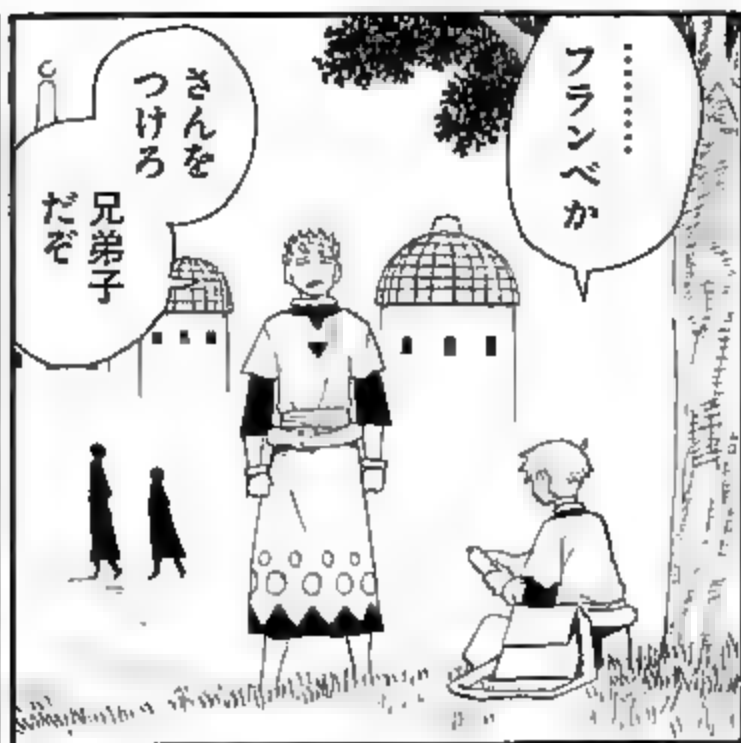


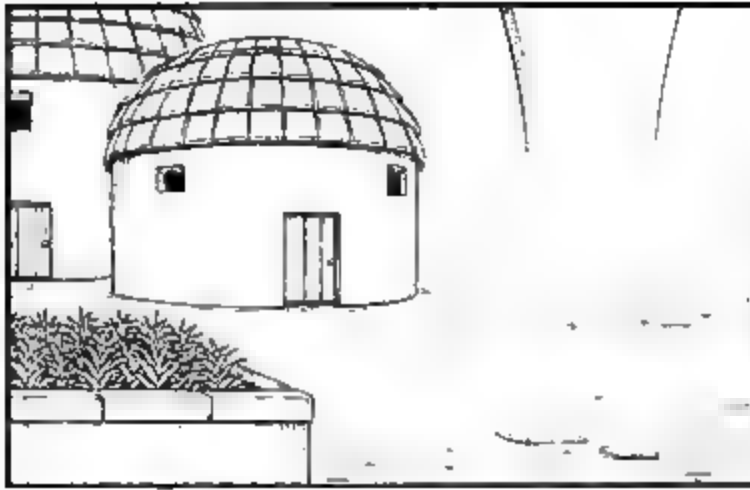












挫折感を  
初めて味わった



助けられなかった

先生の病気には  
おれの力が及ばなかった

天才なのに  
助けられなかったと  
いうことは

おれが殺した  
のだ

おれのせいじゃ  
なければ  
おれが天才では  
ないということになる

ありえない

おれは天才だ

おれが殺した？  
いや

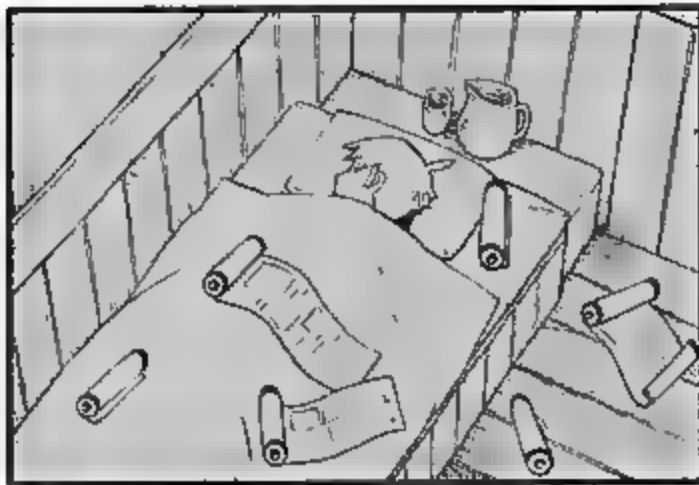
おれは能無し？  
いや

おれは…  
おれが…

例えば誰か  
先生を殺した  
犯人が他に居て

そういう  
憎しみをぶつける  
対象があれば

どんなに  
救われた  
だろうか



フルトウナ!!  
フルトウナ!!

ある  
雪の日



こっ

子供  
拾った!!

…元の場所に  
返してこい

いや育てよう!!  
この子の親は  
狼に殺されたんだ

狼?

なんで  
そいつだけ  
助かった

馬車の荷台に  
隠されてた

ルンが狼を  
追い払ってくれ  
なければ

この子まで  
食べられて  
いたかも

ただいまー!!  
イーストさんに  
頼まれた通り  
狼達は向こう山まで  
追い払いましたよ

ありがとう  
助かったよ

……

お前ルンを  
勝手に使役して…

フルトウナなら  
どうしてた？

知るか  
どうも  
しねえよ

いや

フルトウナなら  
助けたと思うよ

そのガキ  
育てんの

おれは何も  
手伝わねえ  
からな

西の牧場の人に  
力を借りるよ

この子  
名前は？

えーと  
刺繍が  
あるな  
これかな？

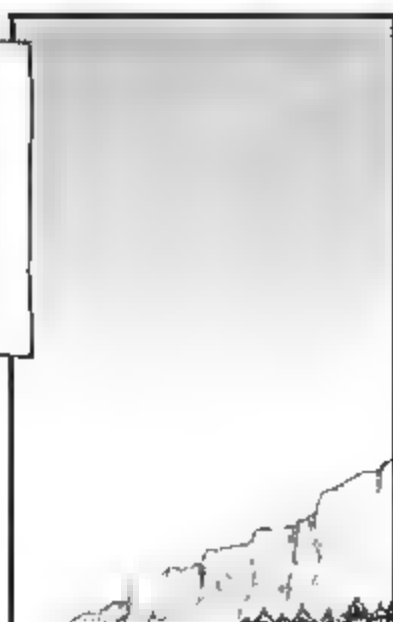
レイ？

レイは  
ダメだ

レイは  
戦の女神だ

ココ  
にしろ

雪の賢者  
ココだ



養父<sup>ちち</sup>を呼び捨てで  
呼ぶ子供だった

いーすと!!

おれ達が  
イーストと呼んで  
いたせいか

お・と・う  
さん

そもそも父と  
呼ぶ発想が  
なかった

?

いーすと

いーすと!!

そのくらいは  
協力してやれば  
良かったかなと  
少し思った

ある日

傷が癒えていた  
ことに気が付いた

先生を救えなくて  
ついた傷が

時間と  
ココ達が  
癒してくれたのだと

わかった



感謝や  
申し訳なさが  
自然に湧いてきた

この4人で居る  
ことはなんて  
穏やかなのだろう

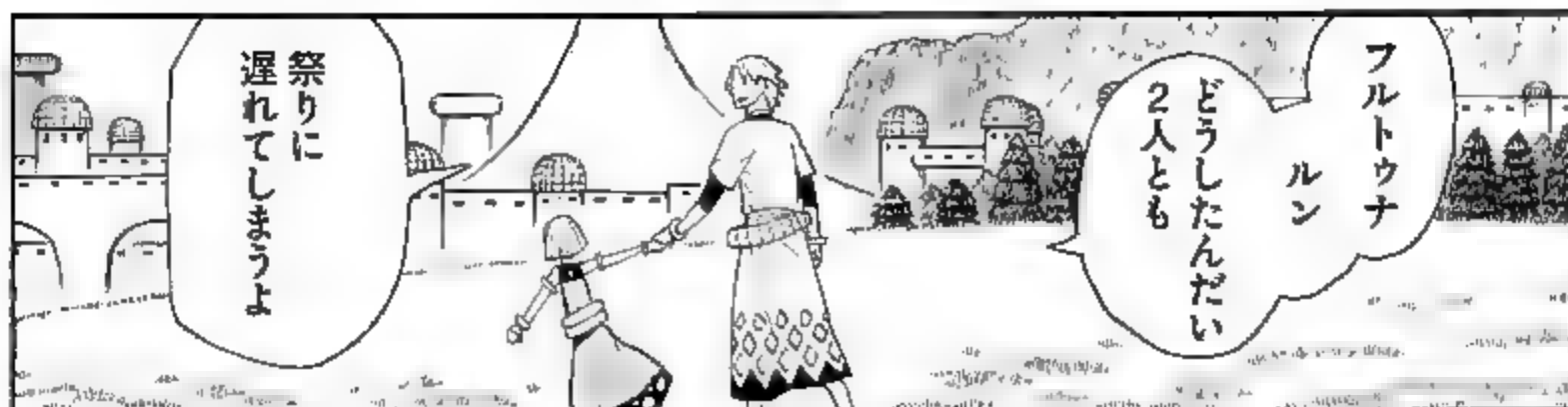


フルトウナ

ルン

どうしたんだい  
2人とも

祭りに  
遅れてしまうよ



ああ

今行く

はい

行きましょ  
マスター



今何かが  
満たされた  
と感じた

退屈で  
静かで

心地良かった



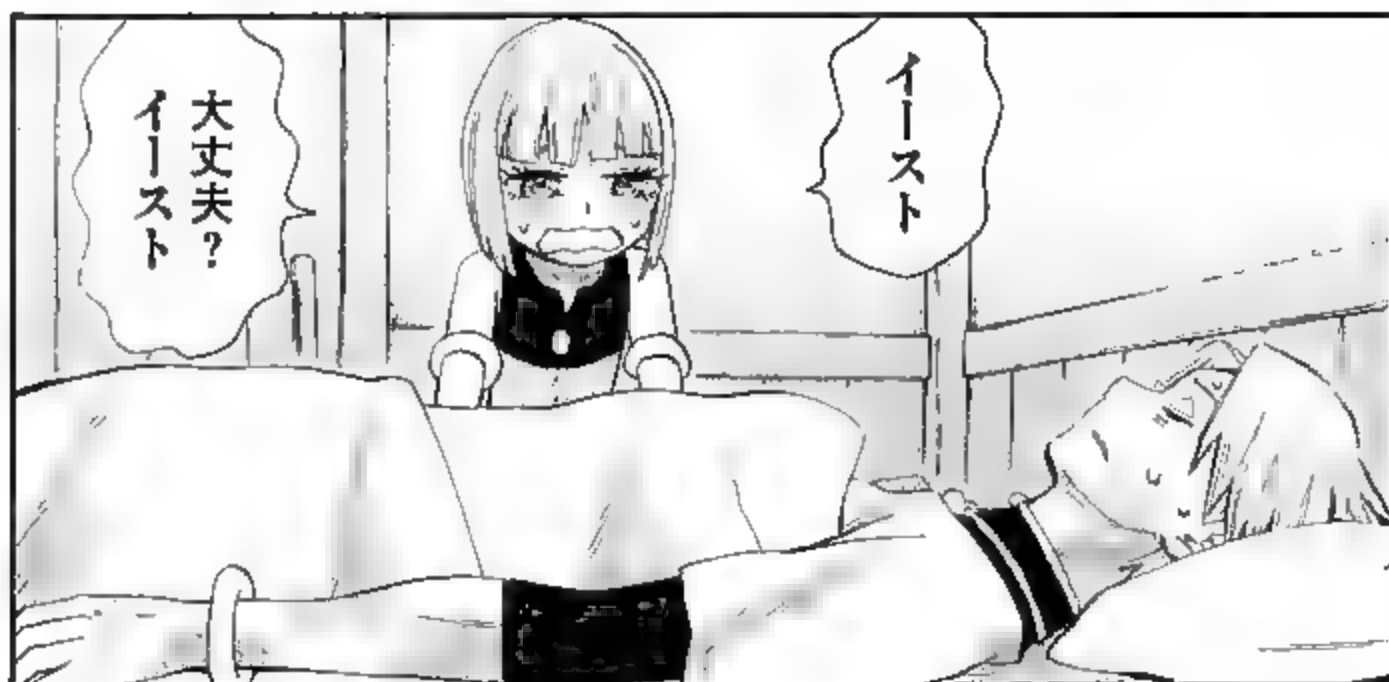
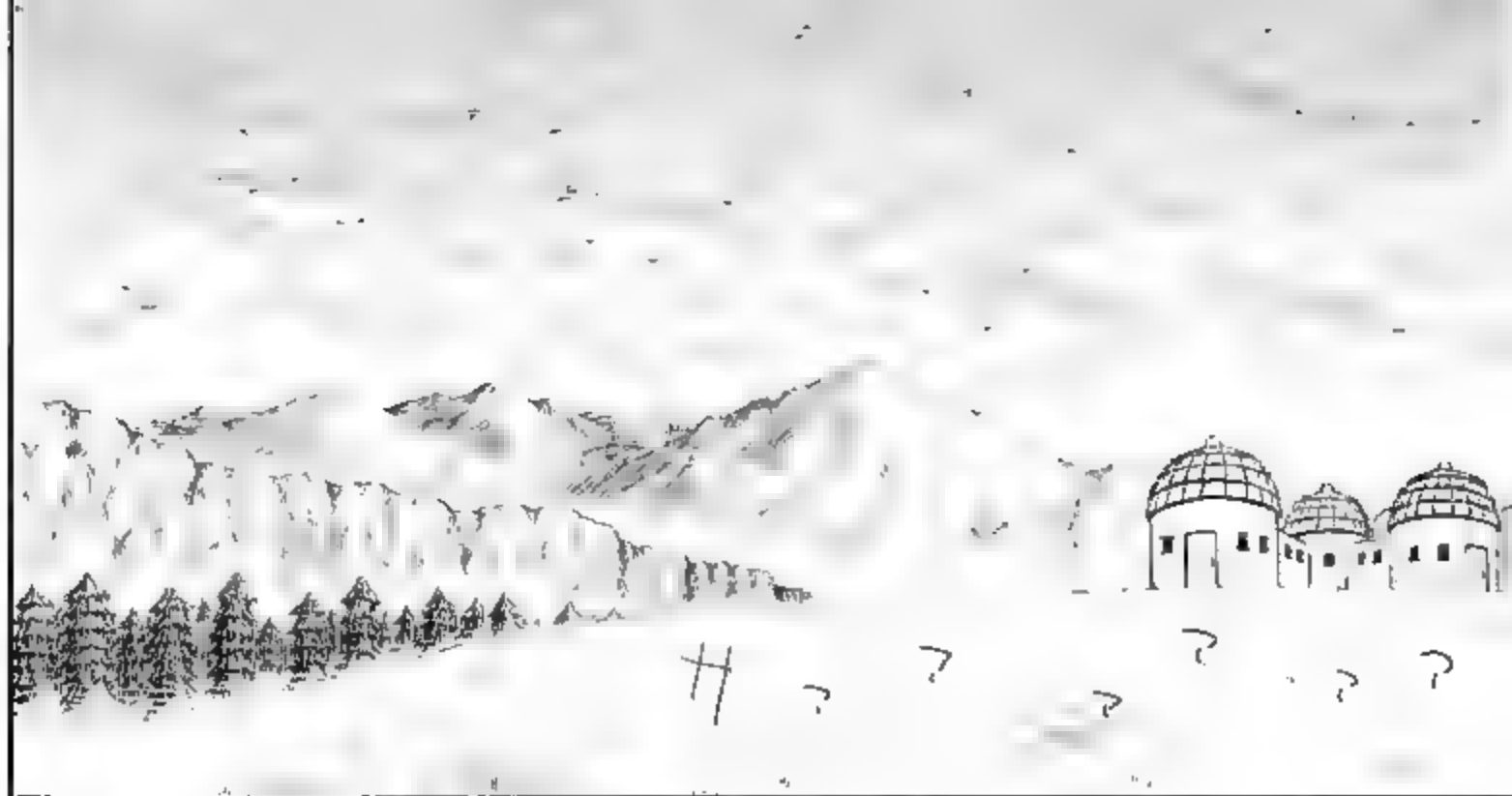
フルトゥナ!!

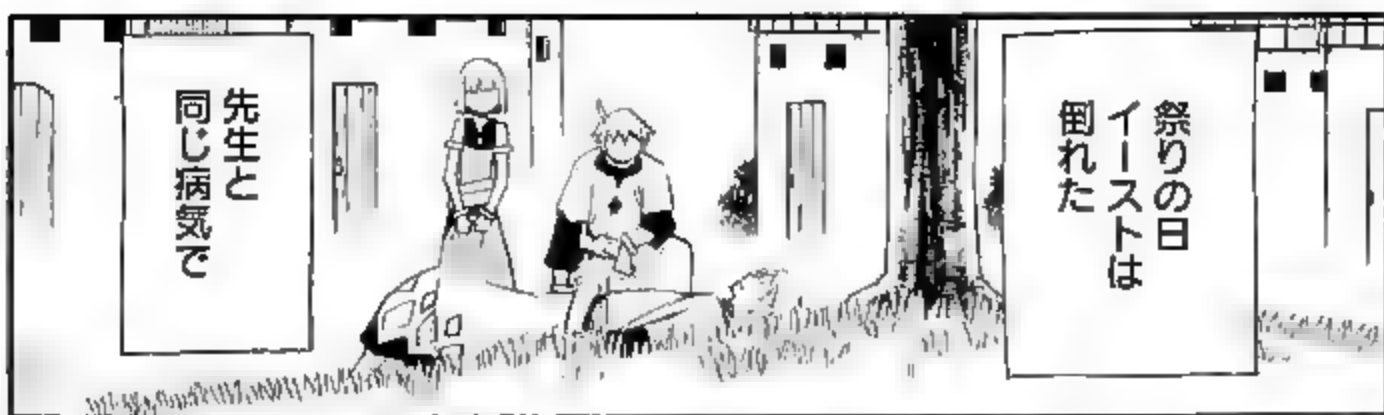
それは  
満ちて

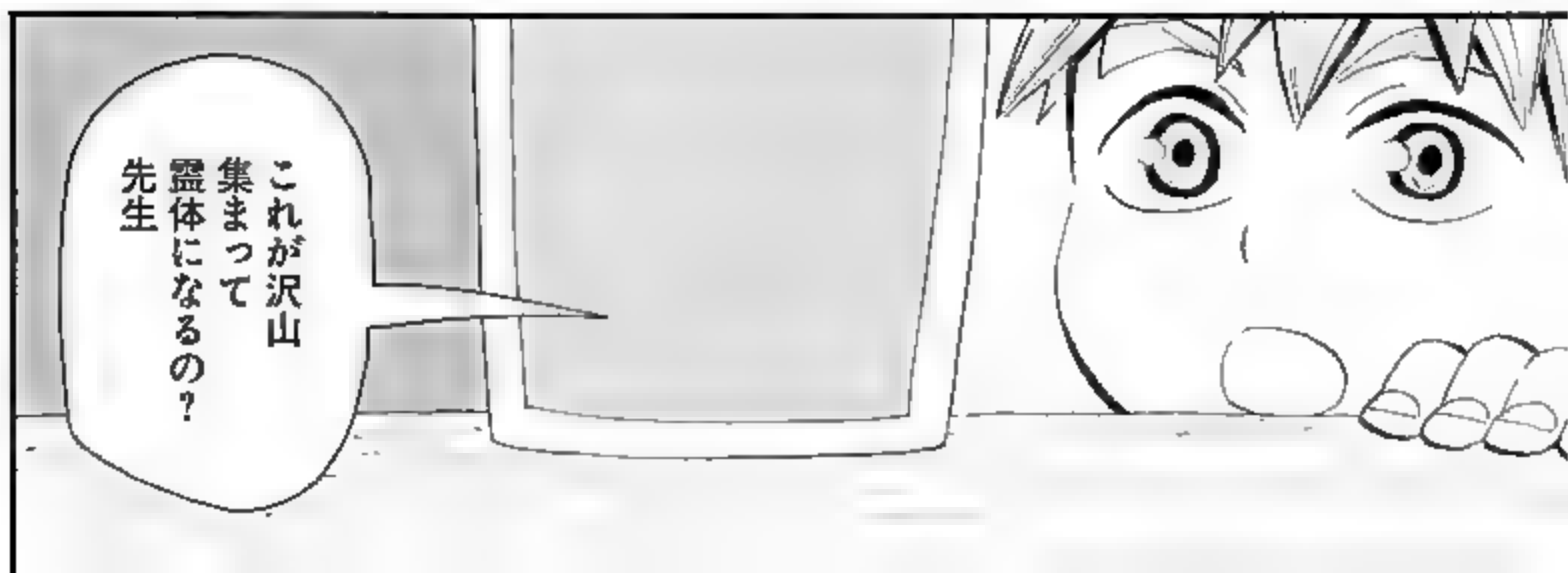
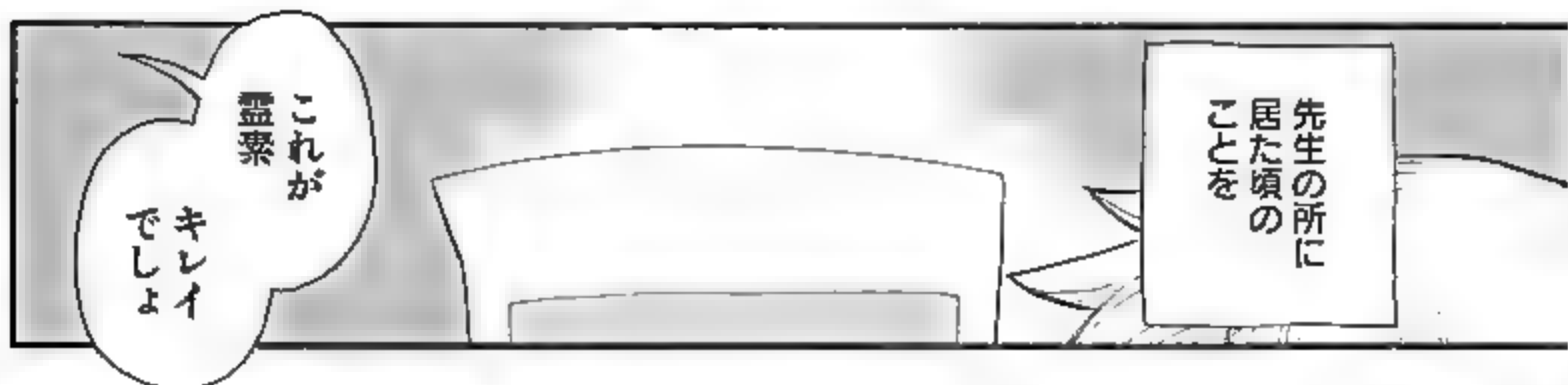
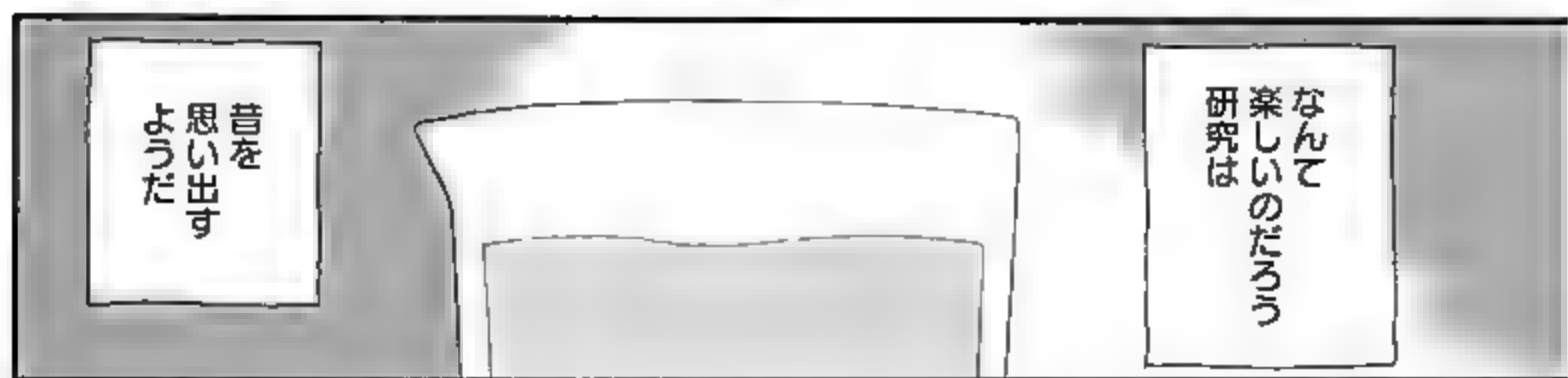


35輪目  
フルトゥナ・2









半分正解

…半分？  
靈素と靈体の  
違い…意識？  
媒介する物質か  
特定の刺激か…

うーん…  
7属の  
組み合わせ…？

えっ

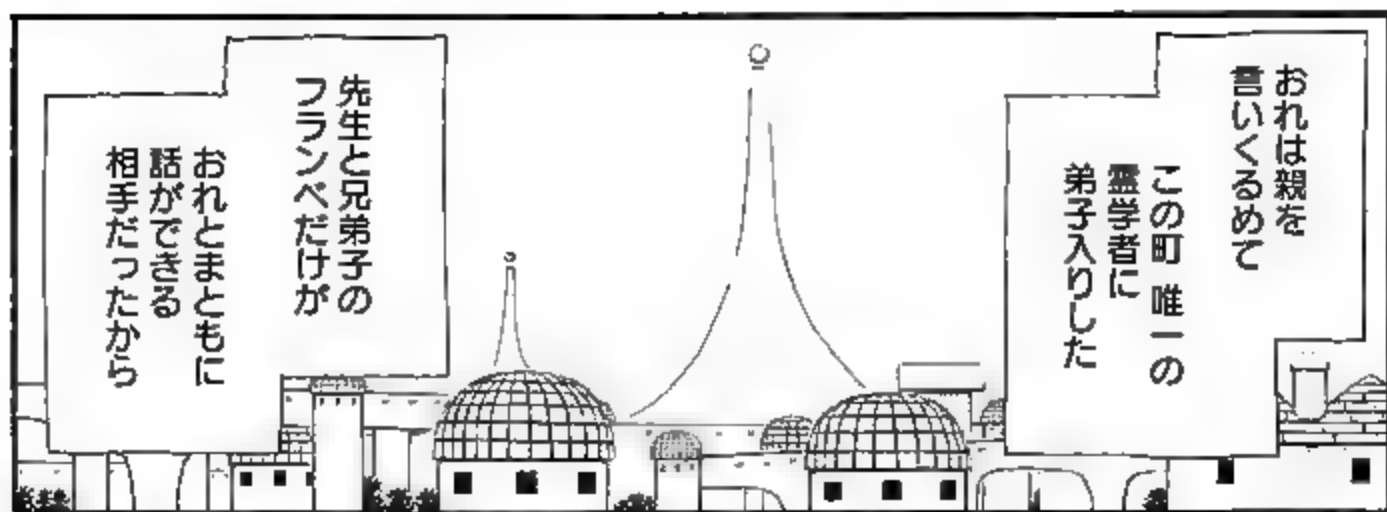
7属まで  
知ってるの？

叔母さ…  
あ先生  
三の巻持って  
来ましたけど

…まだ  
早いんじゃない？

あ倉庫まで  
行ってもらったのに  
ごめんね フランベ  
三でも  
フルトウナには  
ちよつと物足りない  
みたい

五の巻なら  
棚にあるから  
取ってもらえる？





先生だけが

おれにとって  
唯一の「人間」  
だった



レイ先生

先生は町の人から  
そう呼ばれていた

本名では  
ない

勝利と達成の  
女神レイの像と  
似ていたからだ



かつてレイの像の  
傍には従者の  
像があった

妖精・ルン

ルンの像は  
昔戦争で  
壊れたそうだ

かわい  
そう

神話では  
女神レイは妖精ルン  
を娘のように  
可愛がっていた





霊学に人生  
捧げるって  
決めたから

結婚断わって  
実家飛び出し  
ちやつたけど

神話読んできると  
時々ルンミたいな娘  
が居たら結婚も  
悪くなかったかも

……って思う  
こともあるん  
だよ



……子供相手に  
何言ってるん  
だろ私



その道中  
子供の霊を  
見た

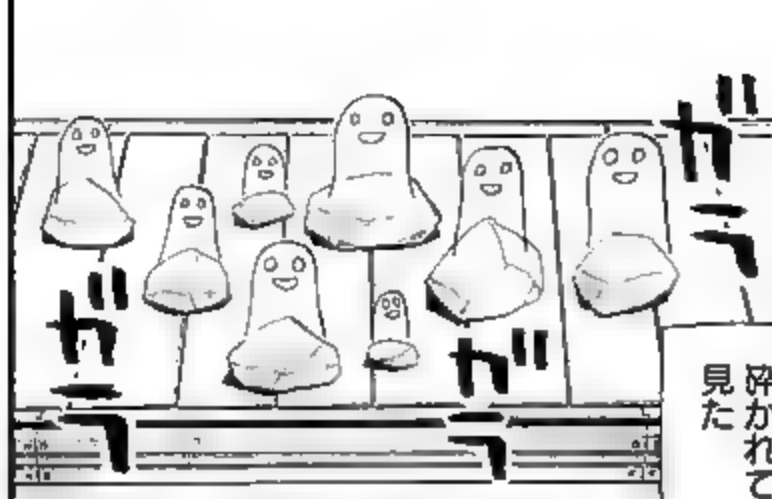


ある日 先生は  
隣の物学技師に  
「霊力炉を見てくれ  
と頼まれて

おれもそれに  
同行した  
アランパ  
さんばい

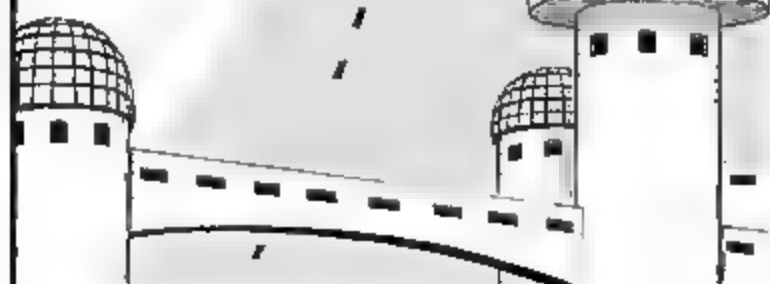
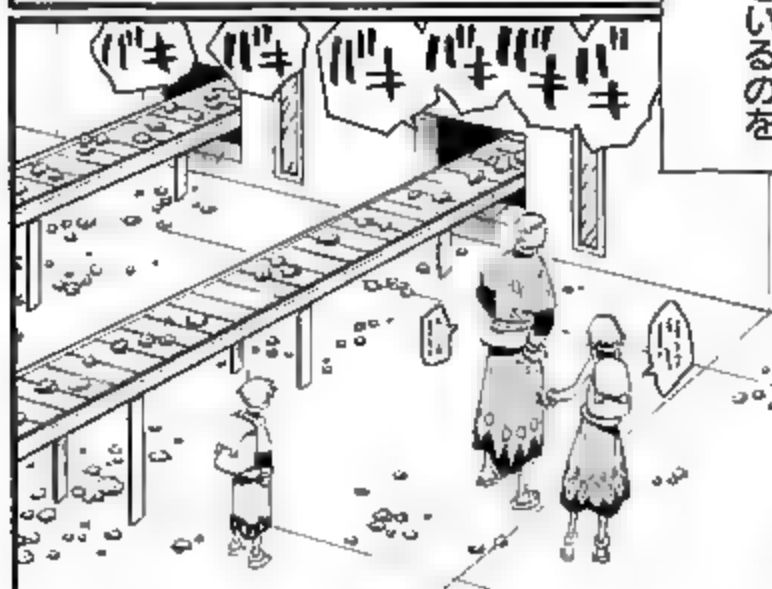


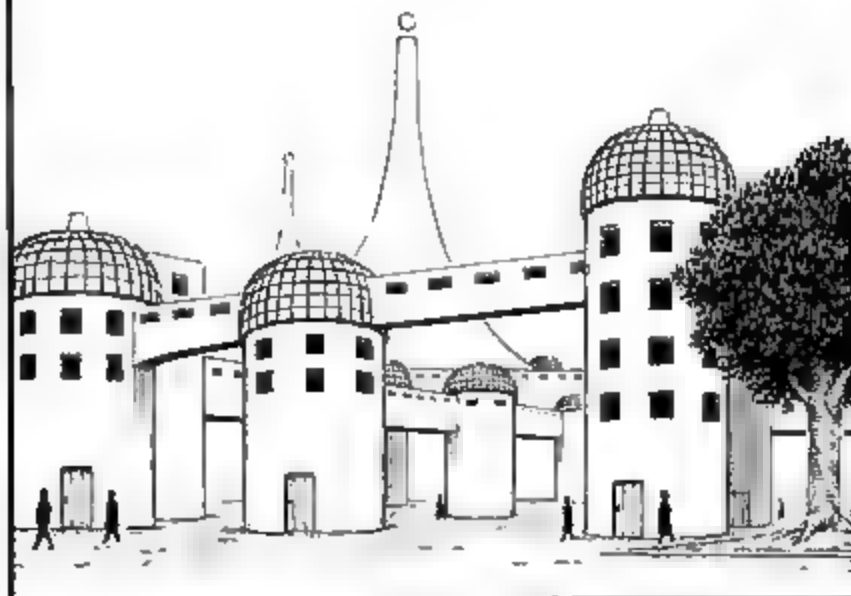
ジロジロ  
視ないの



靈力炉  
では

精霊憑きの石が  
砕かれているのを  
見た





あー…  
フルトウナ

ありがとう

お前 背えあるん  
だから  
カラダ鍛えてみるよ

たった今その拳闘で  
挫折したところだよ

拳闘っていうと  
ゴリントスの  
道場か

優秀な  
指導者と  
聞いたが

ぼく  
才能ない  
みたい

後から入った  
年下の子に  
ノされた

ははは

だき

悪い顔  
だなー  
フルトウナは  
最近どう？

先生の書は  
大体読み終えた

今は独自の  
研究に  
着手している

これだ

なに？  
石？

精霊

物質と霊質  
の融合率に  
ついて調べている

ヒト靈素と  
それ以外の有機・無機靈素  
の違いは意識値だ

意識値は7属陰陽  
14記号言語と靈次元の  
世界密度によって決まる

一定以上の意識値を  
超えるとその領域は  
靈次元が物質次元を  
観測する拠点すなわち  
靈体となる

そもそも靈次元は  
その世界そのものが  
巨大な意識構造に  
なっており…

まあ  
言っても  
わからんか

フルトウナは  
すごいなあ

天才だからな  
当然だ

もう  
イジメられ  
んなよ

じゃあな

じゃあね

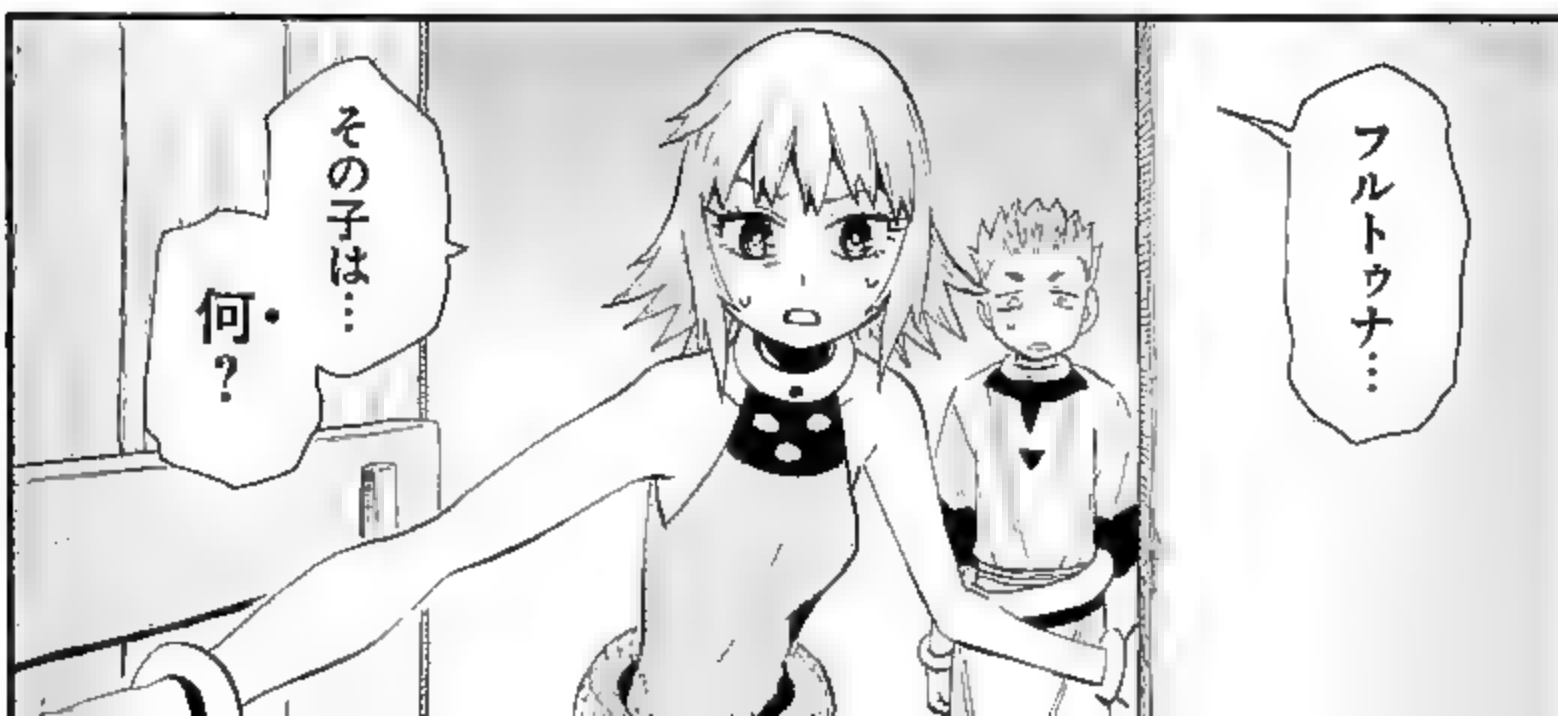
ありがとう

そうだ  
おれはすごい

天才だからだ

天才だから

それが  
出来た







おれが  
破門!?  
なんで?  
先生!?

フルトゥナ!!

ハモン?

フルフル...  
フー...?



…ヒト型  
人工精霊の研究は  
魔道だからよ

人類と…人格の  
定義と尊厳を  
揺るがす禁忌



魔道<sup>それ</sup>に手を出す  
霊学者はいずれ  
心無き狂学者  
になると  
言われている

だから  
あなたはもう  
これ以上 霊学に  
関わっては  
いけません



発想そのものが  
危険なのよ

そういう者の多くが  
研究の過程で  
非道な手段に  
心を痛めない

あなたに疑問や  
躊躇は無かったの?  
人魂を弄ぶ  
ことに



ま待って  
ください!!

成功例も無いのに  
「と言われている」  
ってなんですか!?

そんなの  
出来ない凡人  
どもの妬みじゃ…

人工精霊に  
霊学者の研究室の  
敷居をまたがせる  
わけにはいきません

私物は後で  
ご実家に  
送るから

ご両親の所へ  
帰りなさい

あなたに  
学職は危険  
だわ

ザイ...

...そうね指先を使う  
ような職人を  
おすすめします



しかし  
数年後

病床の  
先生は

霊学を続けている  
おれを咎めは  
しなかった

久しぶり

ごめんね  
顔を見たかった  
だけなの

元気そうで  
よかった

それだけだ

怒んでいるか？  
と聞いてくれ  
なかったから

怒んでません  
と言えなかった



他にも話したい  
ことが沢山あった  
気がしたが忘れた



先生を治して  
それから話せば  
いいと思って

その時は  
黙っていた

おれは  
天才だ

治せる

思い上がって  
いた

先生は  
死んだ

イースト



おれをすごいと  
言ってくれたよな



# なるほとね



／あんたが大将／

# 宇宙見破 たり





完全無属性の  
万能靈素

次元干涉環

名付けて  
スピリット  
サークル



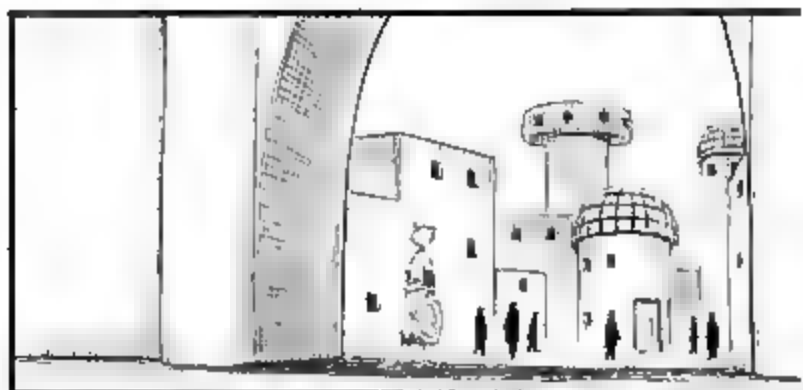
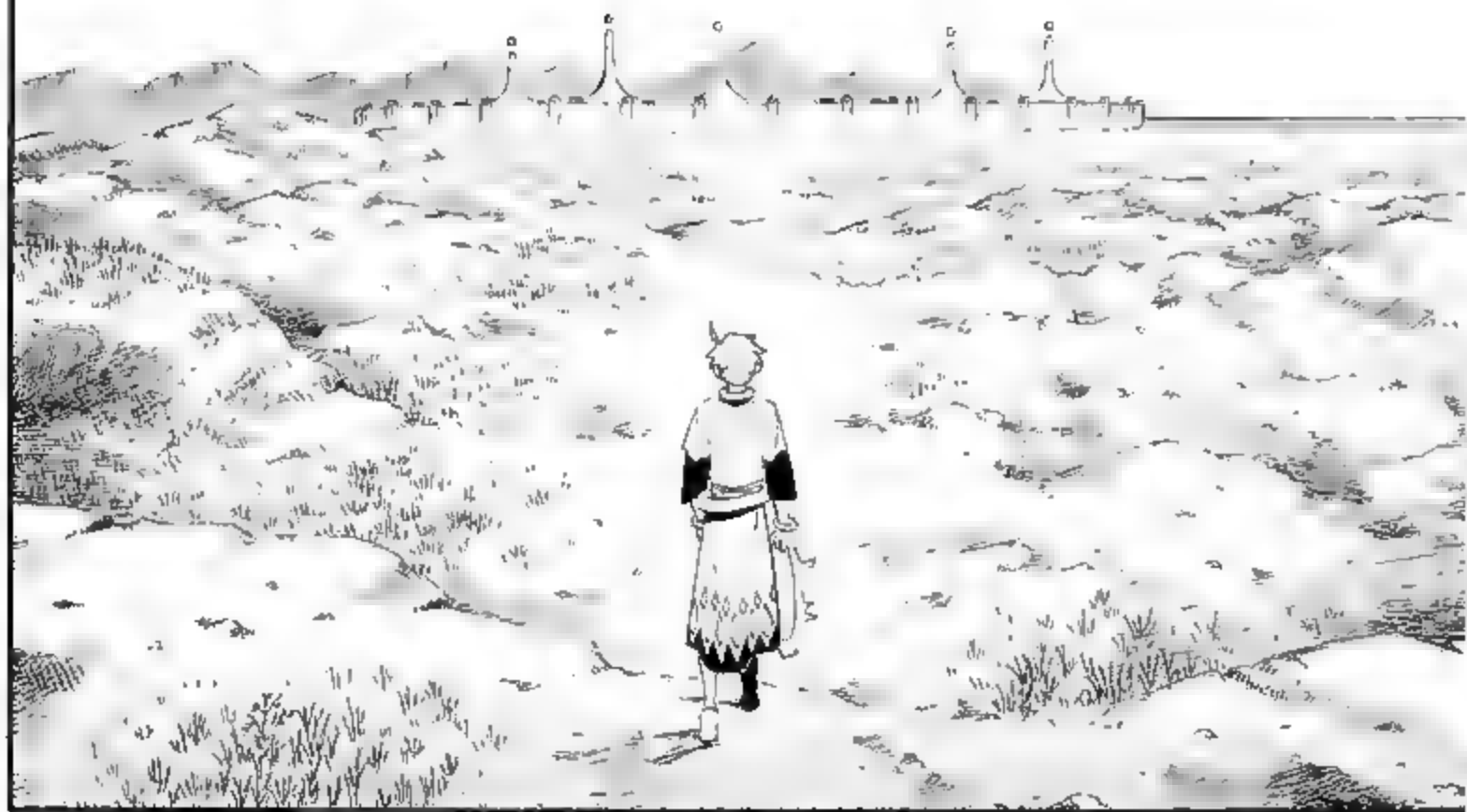


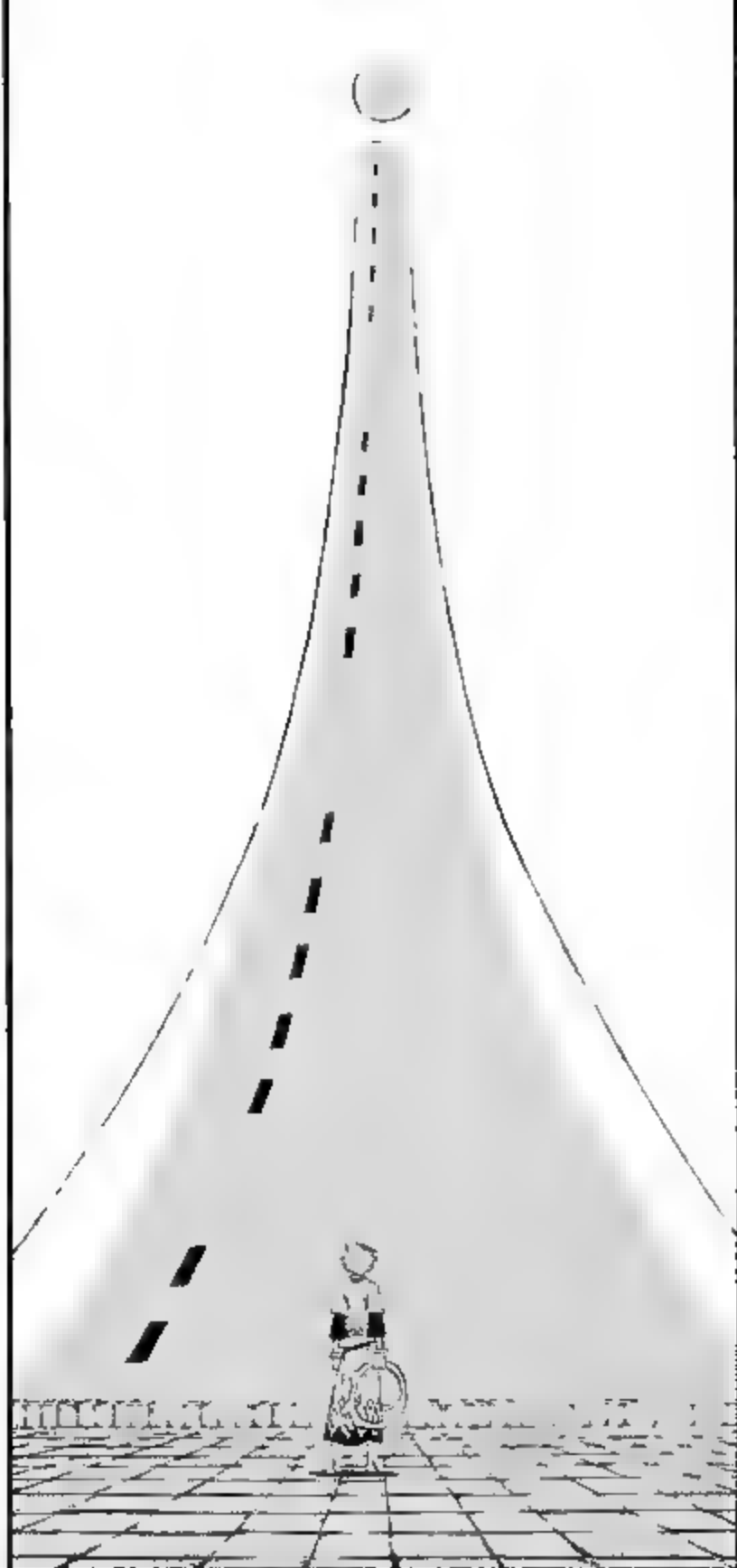
36輪目  
フルトウナ3

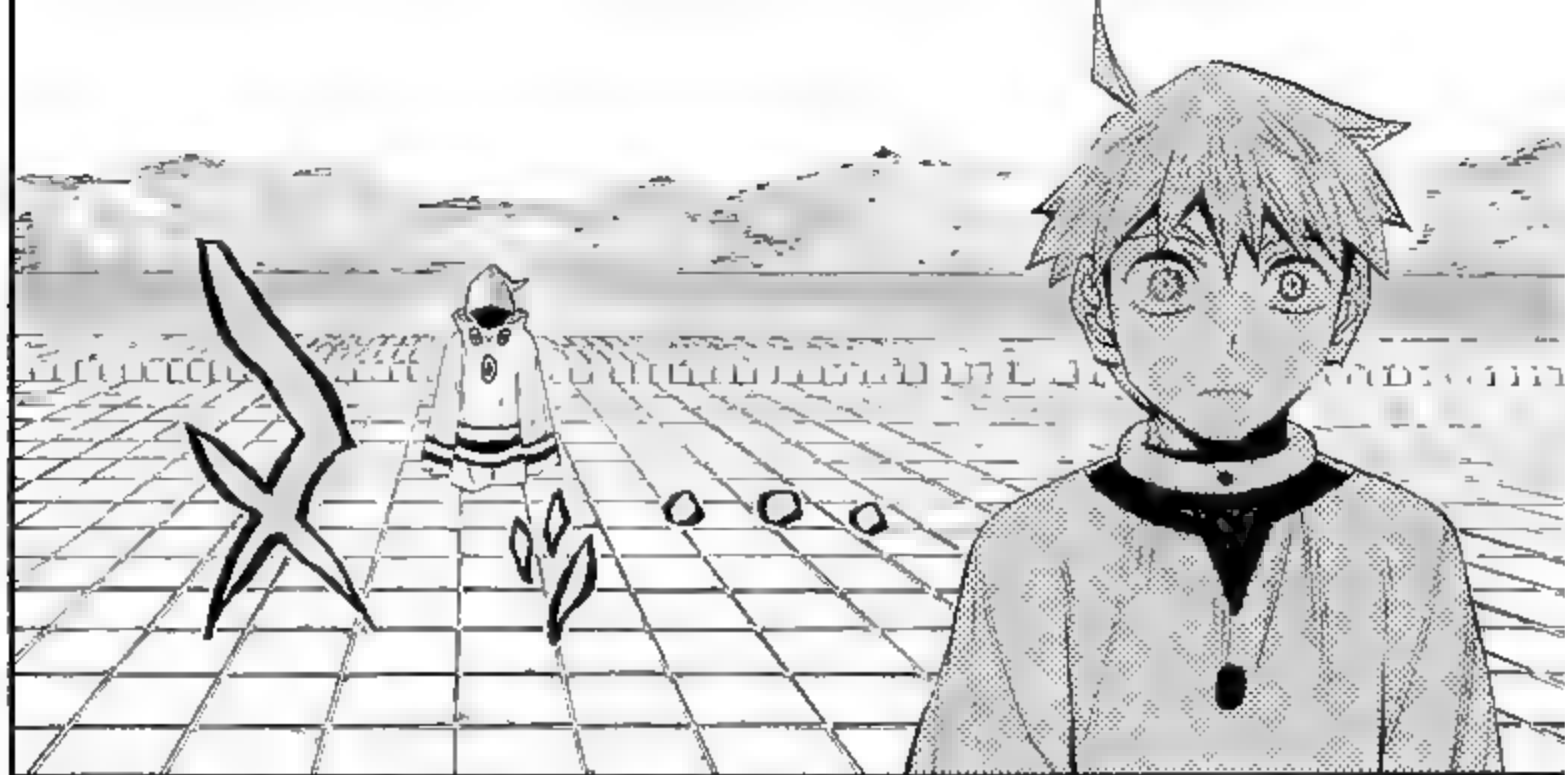


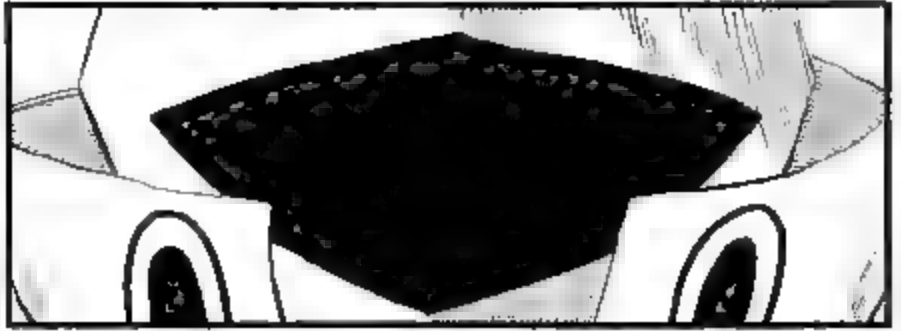
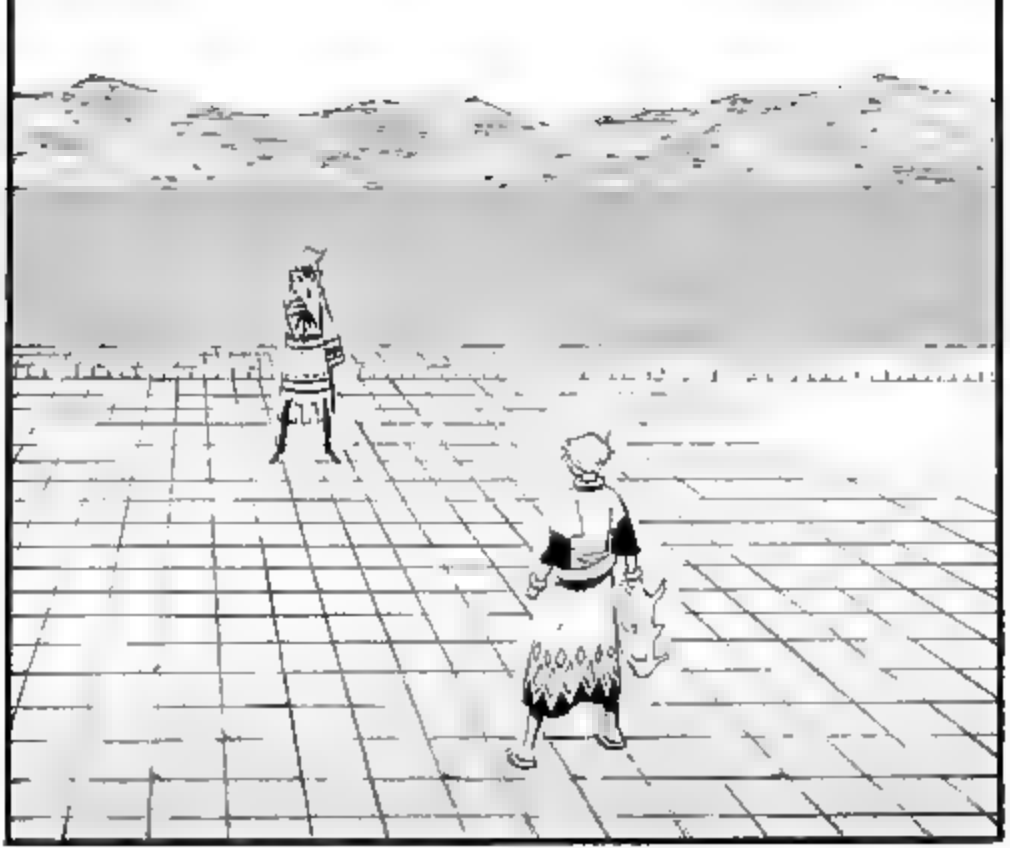










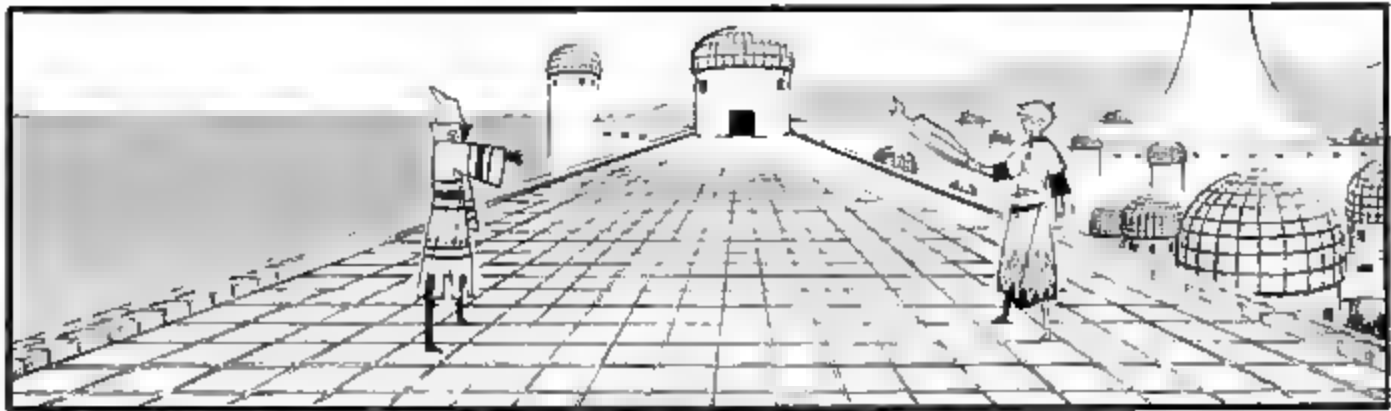


その環を  
渡せ

お前達には  
まだ早...

これが欲しければ  
取り上げてみせる!!  
上位存在!!

お前ほど巨大な者に  
そんな細かいことが  
できるのならな!!



.....  
扱いに  
気を付けよ

それは  
お前達を  
滅ぼし  
かねない

感謝するよ

自信が  
戻った



次元相對  
・擴大



やってやる

これでおれは  
イーストを助け

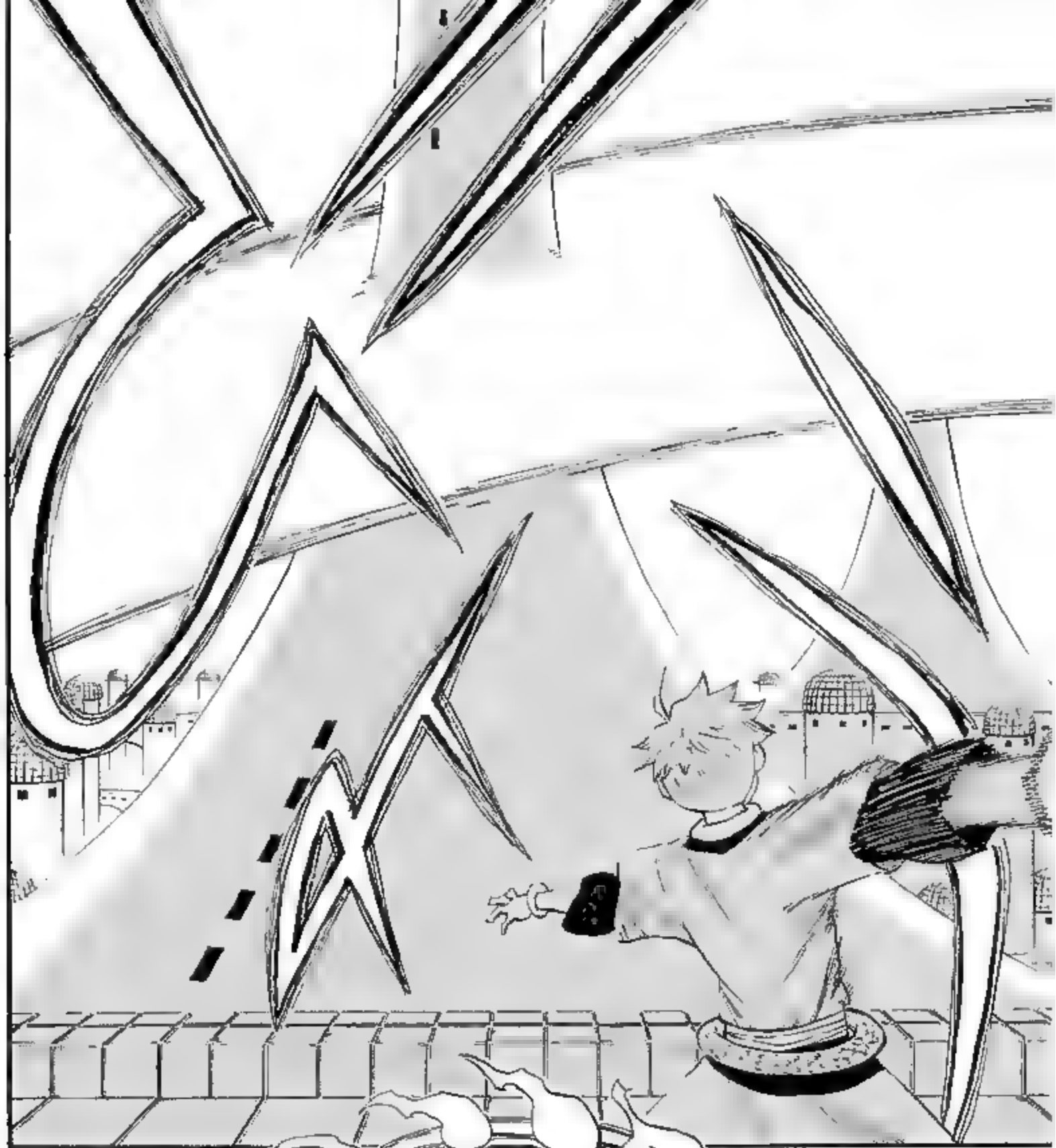
先生を助けられ  
なかった過去を  
払拭し

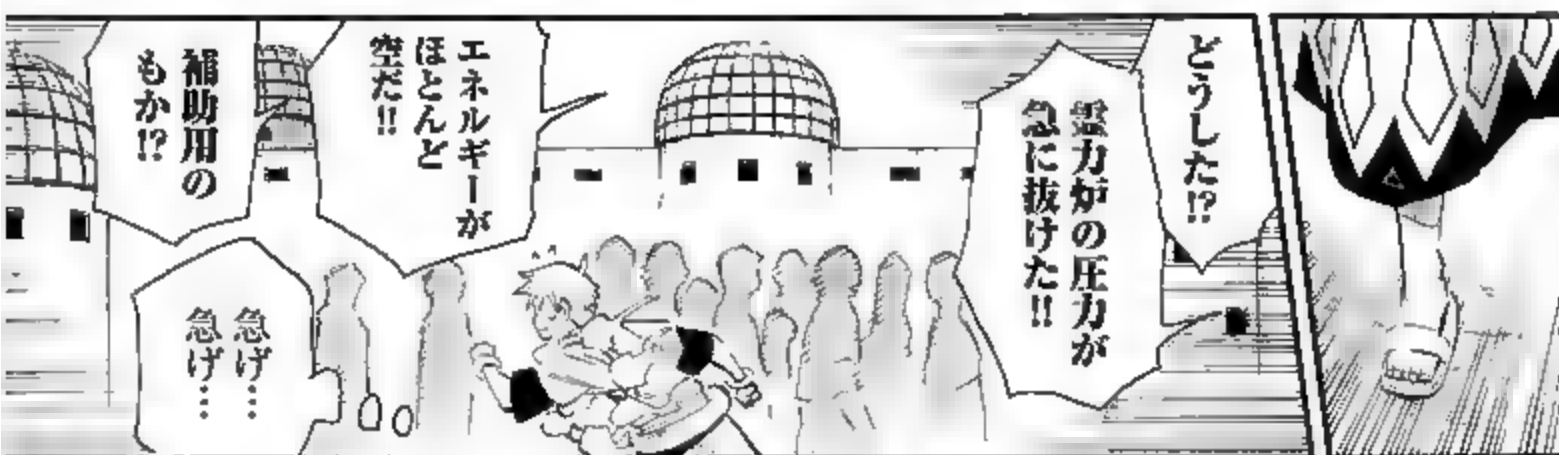


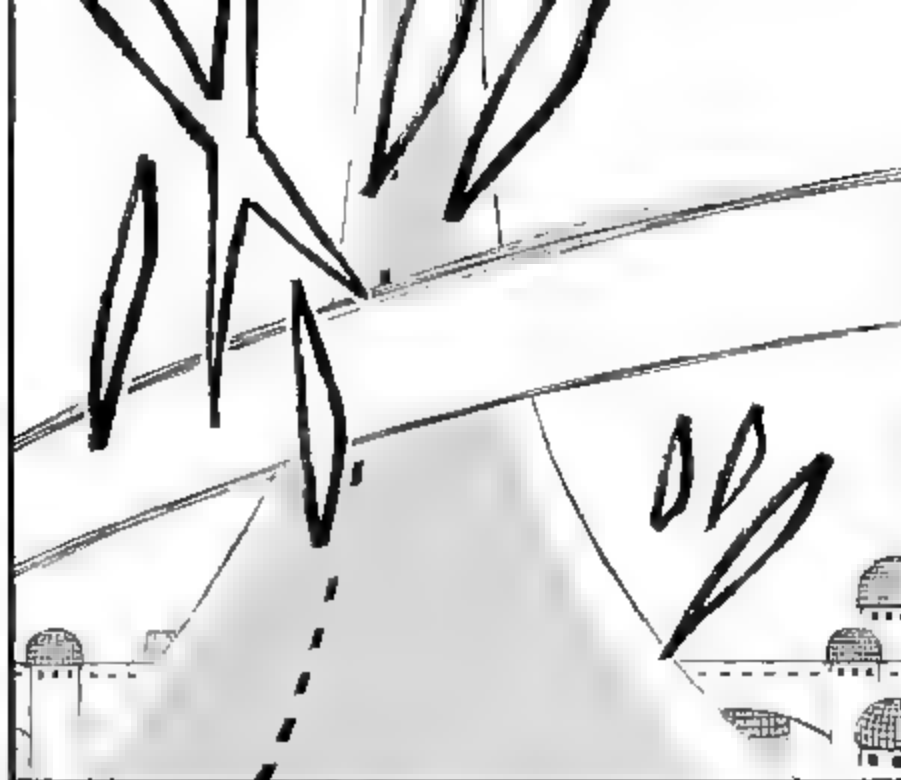
靈素捕集!!

「死」を  
超える!!



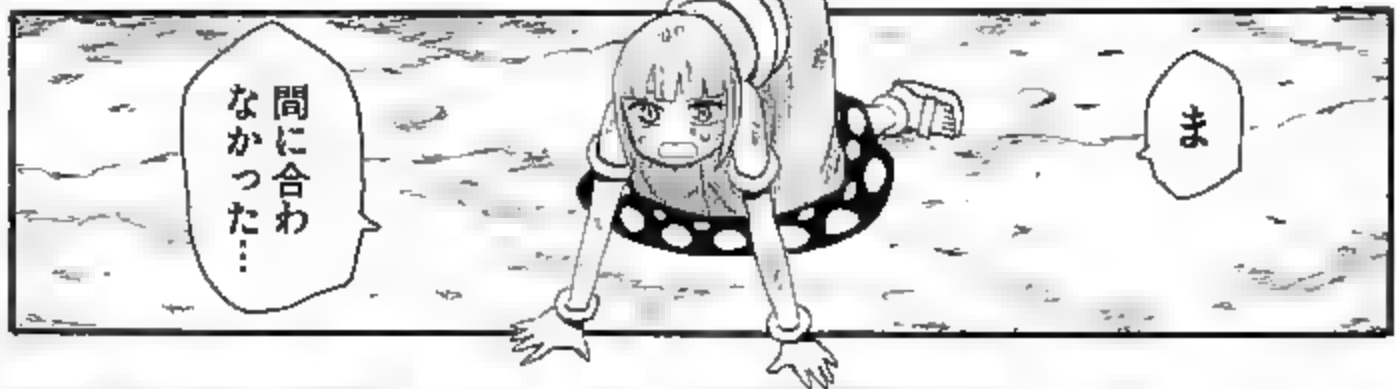
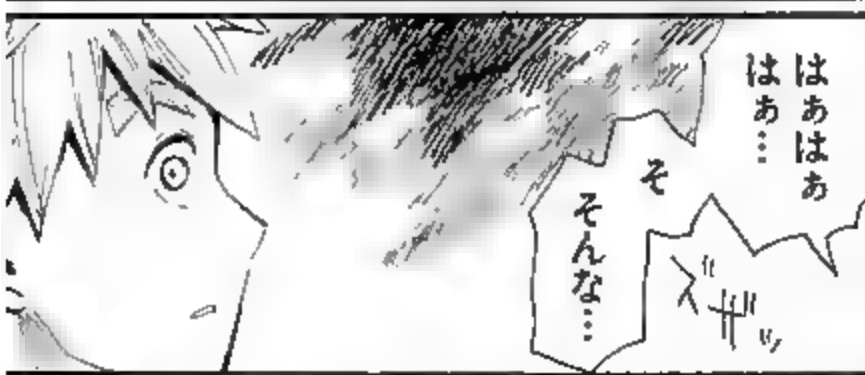






















そうか

…やっぱり  
すごいな

フルトウナは

当たり前だ

ココ  
帰ったか  
急いで  
荷物  
まとめろ  
すぐ  
行くぞ

ココ…

ココ  
ちゃん…

へ  
た

あ、イーストは  
そのサークル持ってる  
それは今のお前と  
セツだから

荷物  
まとめて  
くる

ほら  
ココも

おい？  
ココ？

…仕方ない  
適当にまとめて  
おくぞ

どこへ  
行くんだい？

あとぼくの体は  
ベッドに置いた  
ままだけど…

大図書館のある  
西都へ行く

…お前の肉体は  
もう動かせない

触ったら  
砂より細かい  
粒子になって  
崩れるからな

あのーなんで  
顔隠して  
るんです？

おれがやった  
ってバレた

おれの顔と  
名前をセットで  
知ってる奴が  
居たんだ

へた打ったな

旅装で盤力炉  
付近をウロつく方が  
目立つと思ったん  
だが

もしかしたら  
もう指名手配  
されてるかもしれん

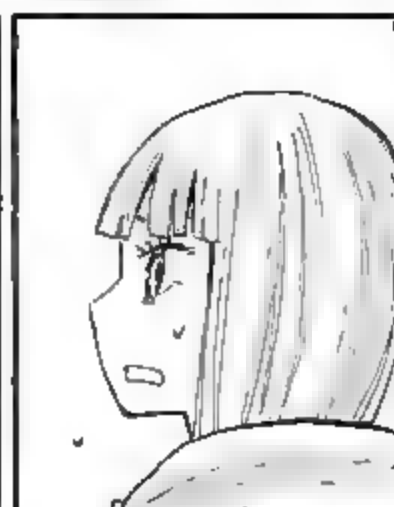
…あの家には  
もう戻れないな

ま4人でまた  
こうして元気に  
歩けるんだから

良しとしよう



コーコと  
イーストは



船の切符を  
持って行く

コーコは家を出て  
以来初めて  
おれに話しかけた



さっき歩いてる  
人が話してたん  
だけど

あの町の  
靈力炉爆発の  
死傷者は2万人  
だった

…ふーん

何故そんな  
ことを  
言うのか

おれには  
わからなかった  
が

……

フルトウナに  
とって…

いじわるの  
やりとりは

おれと  
コーコ

命って  
何？

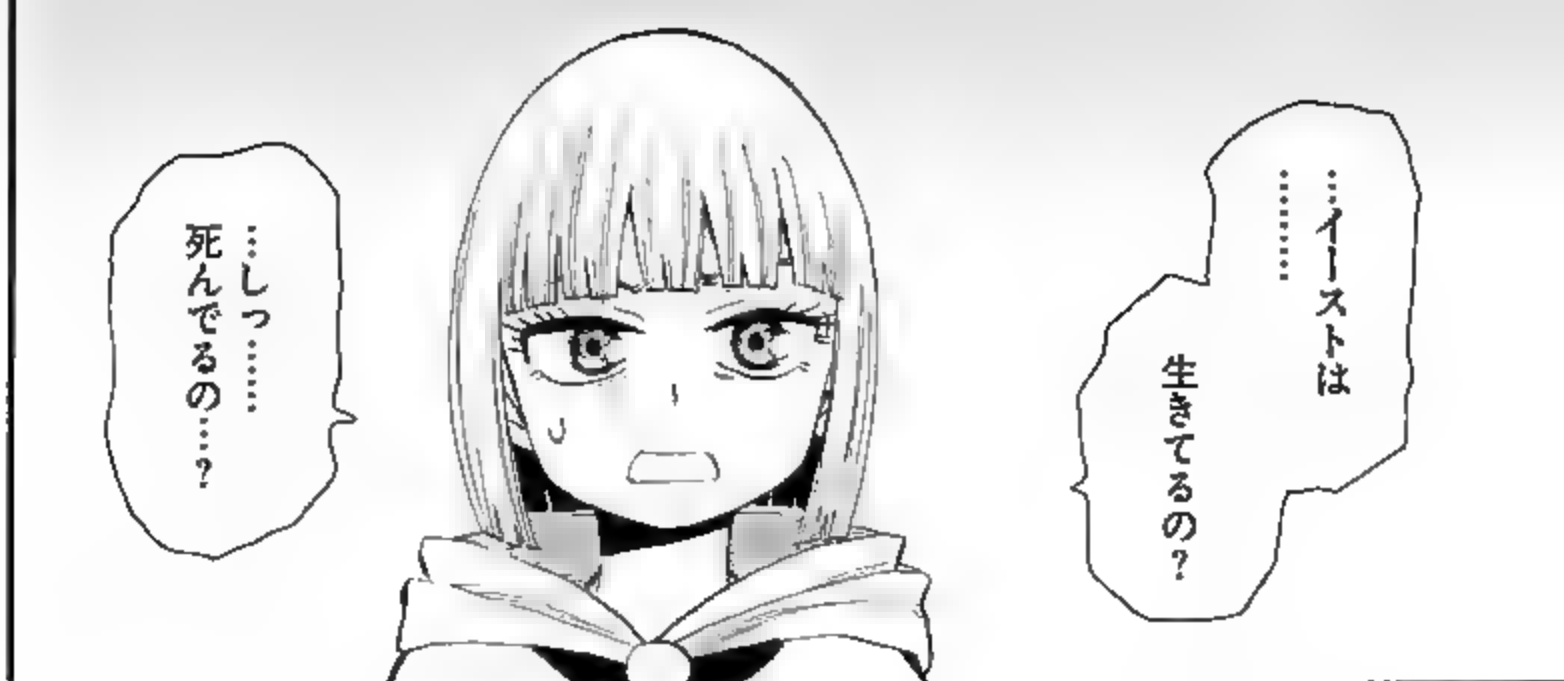
2人の運命を  
分けた

37輪目  
フルトウナ4

















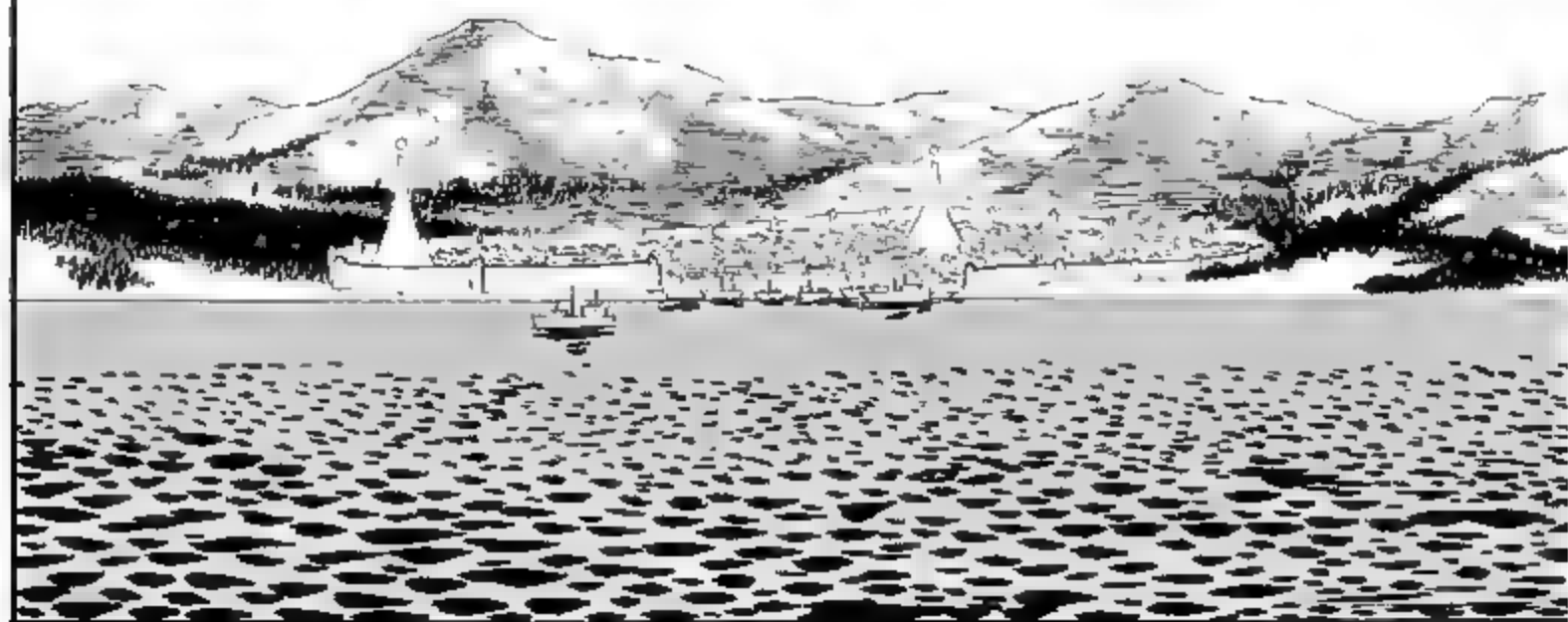






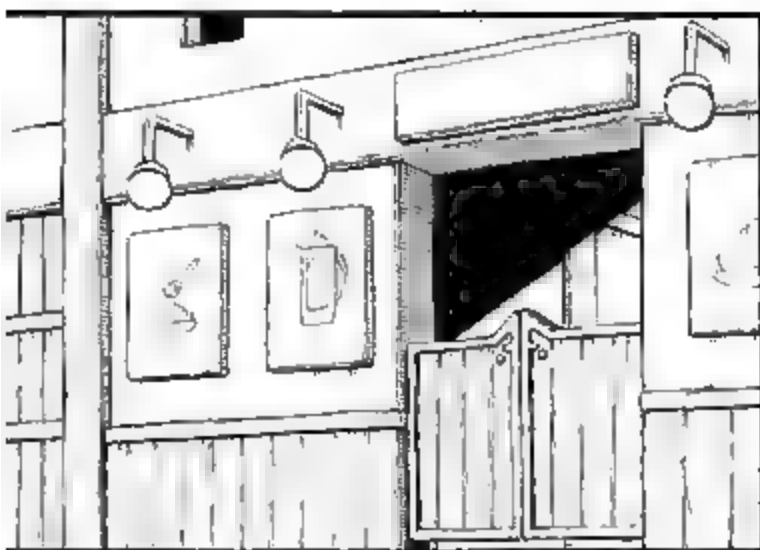
こうして  
おれ達4人は

バラバラに  
なった





…いつか  
また…







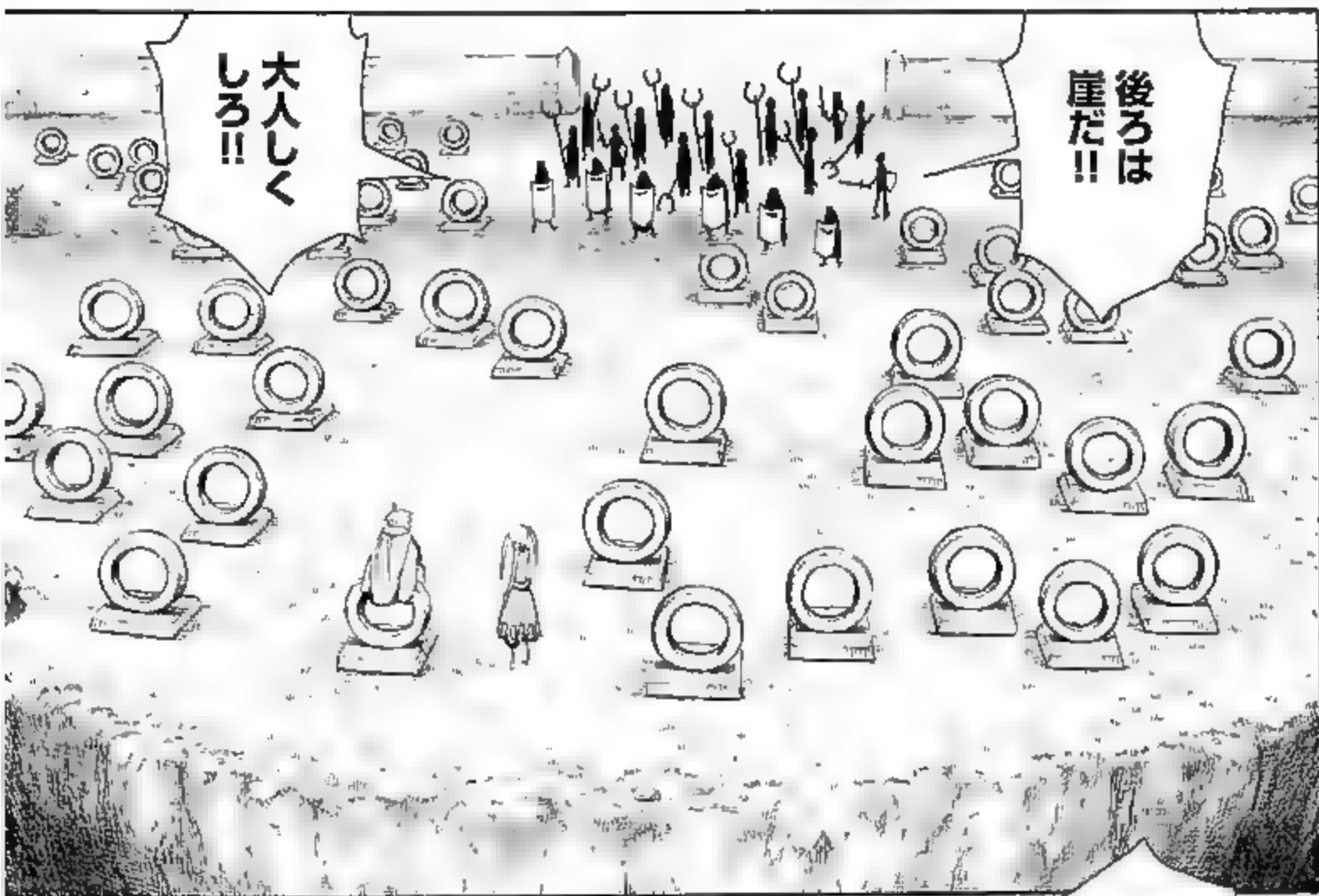
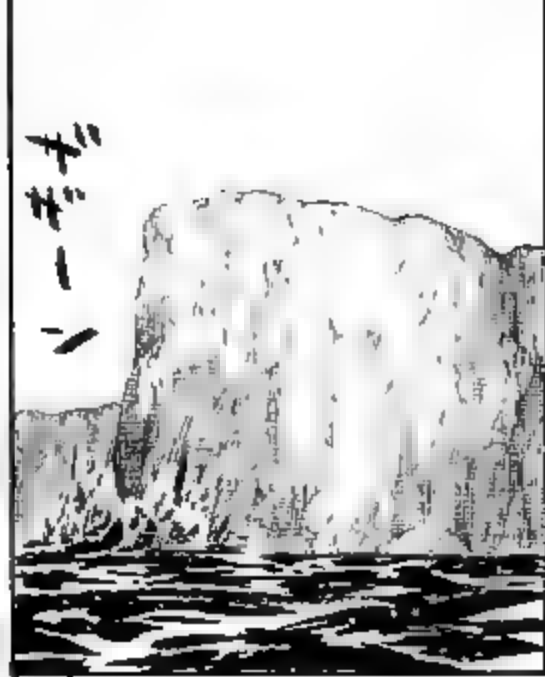




霊学者  
フルトウナ!!

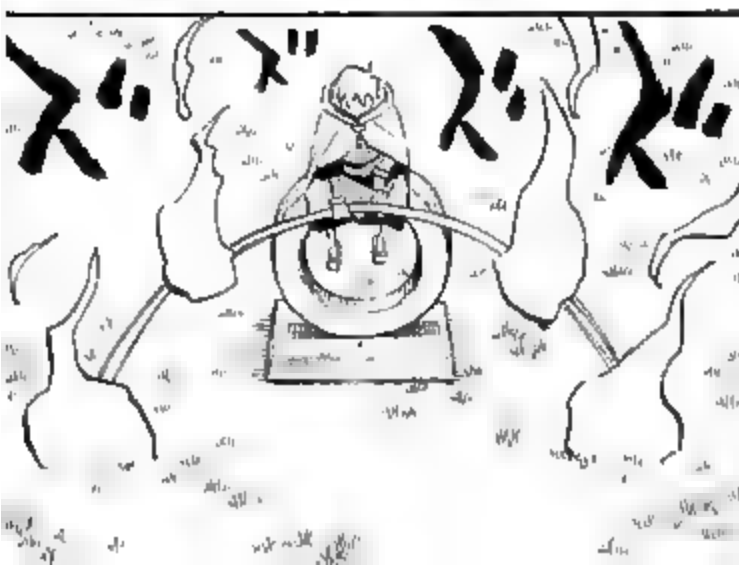
北工街と山南市  
2件の霊力炉  
爆破

及び  
人相描き操作の  
諸々の罪で  
逮捕する!!



後ろは  
崖だ!!

大人しく  
しろ!!



まったく  
墓地になんか  
逃げやがって!!





応援呼べ!!  
ひとあつ  
人集めろ!!

ぎやあ!!

がはっ

なんだよ  
これはああ!!

骨が!!  
骨が!!

骨が!!

ああ

ああ

ああ





…私…

命とか  
生きてるとか  
よくわからないん  
ですけど…

こういうの  
ココちゃんは  
嫌がるんじゃない  
ですかね！…



？

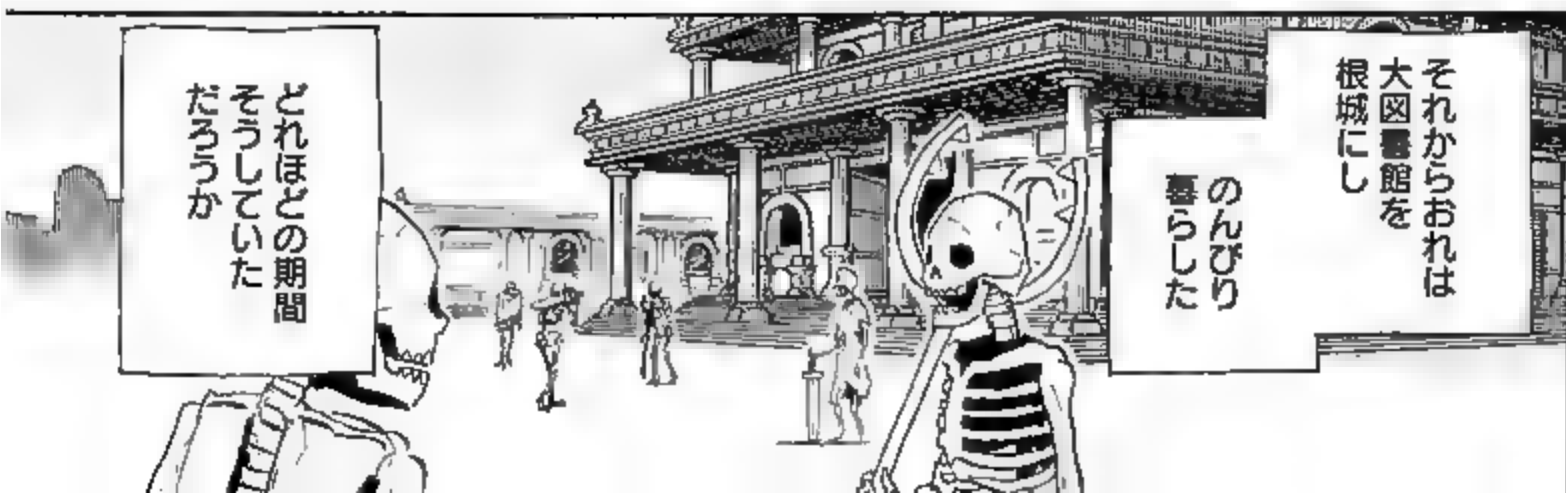
なんか  
言ったかー？  
それよか  
こっち来い  
ルン

武人の盤素  
あったから  
式組み  
込んでやる

これでまた  
動き良く  
なるぞ

倒した数だけ  
新しい死霊兵が  
増えた

西部の制圧は  
簡単だった



それからおれは  
大図書館を  
根城にし

のんびり  
暮らした

どれほどの期間  
そうしていた  
だろうか

死靈王  
フルトウナ!!



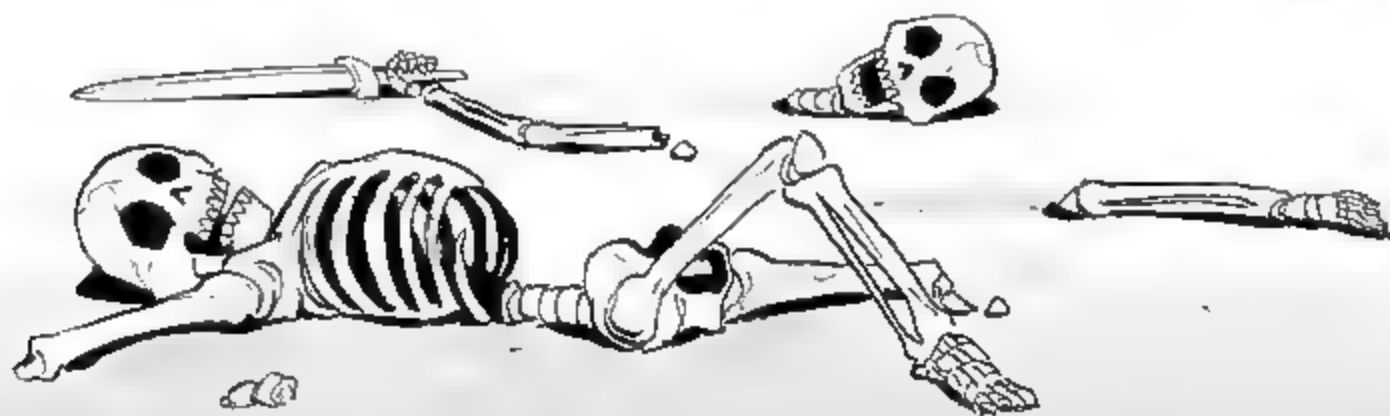
ある日



そこに  
居たか!!  
「ガニヤーン  
ガニヤーン」

彼女に  
そう呼ばれて

おれは初めて  
気が付いた





大きく  
なったな…

過ぎた年月の  
永さに



…老けた  
わね…

# スピリットサークル

## 第5巻／完

〈6巻へつづく〉

作画スタッフ

蝶田じゅえる

臼井仁志

相模 映

タイトルロゴ&カバーデザイン

萩原栄一(bigbody)

担当編集

須見武広

# 少年画報社

<http://shonengahosha.jp>

---

電子書籍版

## スピリットサークル

5

水上悟志

©2015 水上悟志／少年画報社

---

eBOOKで  
快適読書生活



<http://www.ebookjapan.jp>

---

Digital Distributor  
eBOOK Initiative Japan Co.,Ltd.  
<http://www.ebookjapan.jp>

---